

かわごえ子育てプラン（川越市次世代育成支援対策行動計画）
平成24年度の進捗状況

平成25年7月現在

川越市こども未来部こども政策課

《目次》

1. かわごえ子育てプラン体系図	1
2. 進捗状況総括表	2～4
3. 重点施策の進捗状況	5～7
4. 事業別進捗状況	
(1) 基本目標 1	8～18
(2) 基本目標 2	19～29
(3) 基本目標 3	30～31
(4) 基本目標 4	32～37
(5) 基本目標 5	38～56
(6) 基本目標 6	57～63
(7) 基本目標 7	64～71

1. かわごえ子育てプラン体系図



2. 進捗状況総括表

[進捗状況] A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項 目	事業数 (総事業数)	平成24年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 [決算額]	平成23年度 予算額 [決算額]	平成24年度 予算額 [決算額]	平成25年度 予算額 [決算額]	平成26年度 予算額 [決算額]	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進	50	48	1	0	0	1	1,410,594	1,584,178	1,760,143	1,654,480	0	●施策目標(1)「子どもと親の健康の確保・増進」 ●施策目標(2)「食育の推進」 ●施策目標(3)「思春期保健対策の充実」 ●施策目標(4)「小児医療の充実」
多様化、複雑化する健康に関する諸問題を解決するため、健診・相談・指導体制の充実に努めます。	50	48	1	0	0	1	1,354,779	1,495,305	1,675,369	0		
【掲載事業の内訳】												
新規事業	2	2					358	430	449	430	0	
	2	2					312	424	449	0	0	
拡充事業	21	20	1				1,231,990	1,391,091	1,559,183	1,493,016	0	
	21	20	1				1,181,913	1,319,315	1,484,004	0	0	
継続事業	27	26				1	178,246	192,657	200,511	161,034	0	
	27	26				1	172,554	175,566	190,916	0	0	
基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進	43	41	1	0	0	1	6,403,583	3,365,724	760,241	247,670	0	●施策目標(1)「次代の親の育成」 ●施策目標(2)「子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備」 ●施策目標(3)「家庭や地域の教育力の向上」
確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を育むため、市立学校の教育活動・教育環境等の整備・充実に努めます。	46	44	1	0	0	1	2,983,491	2,086,444	598,699	0	0	
【掲載事業の内訳】												
新規事業	0						0	0	0	0	0	
	0						0	0	0	0	0	
拡充事業	9	8	1				6,220,499	3,169,647	574,411	77,107	0	
	11	10	1				2,809,506	1,898,394	452,474	0	0	
継続事業	34	33				1	183,084	196,077	185,830	170,563	0	
	35	34				1	173,985	188,050	146,225	0	0	
基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実	2	1	1	0	0	0	66	66	66	66	0	●施策目標(1)「親の学びの機会の充実」 ●施策目標(2)「親の社会参画の機会の充実」 ※(1)－1「ワーク・ライフ・バランスの推進・啓発」は、こども政策課の評価(B)で集計
子育てをより楽しく充実したものにするため、子育てについて話し合い、学ぶ場や社会参画の機会の充実に努めます。	7	5	2	0	0	0	66	66	66	0		
【掲載事業の内訳】												
新規事業	1	1					66	66	66	66	0	
	1	1					66	66	66	0	0	
拡充事業	1	0	1				0	0	0	0	0	
	4	2	2				0	0	0	0	0	
継続事業	0	0					0	0	0	0	0	
	2	2					0	0	0	0	0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (総事業数)	平成23年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 〔決算額〕	平成23年度 予算額 〔決算額〕	平成24年度 予算額 〔決算額〕	平成25年度 予算額 〔決算額〕	平成26年度 予算額 〔決算額〕	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実 仕事と子育てを両立しやすい社会の実現のため、事業主等に対する啓発や、地域における子育ての相互援助活動の推進に努めます。	11 25	7 15	3 5	0 3	1 2	0 0	12,463 11,707	12,588 11,747	12,914 15,347	15,012 0	0 0	●施策目標(1)「多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し」 ●施策目標(2)「仕事と子育ての両立の推進」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	2 5	1 4	1 1				607 607	620 620	610 610	610 0	0 0	
拡充事業	2 11	0 4	2 4	0 3			92 81	77 77	75 26	75 0	0 0	
継続事業	7 9	6 7			1 2		11,764 11,019	11,891 11,050	12,229 14,711	14,327 0	0 0	
基本目標5 子育てを地域で支える仕組みの推進 子育てしやすい環境を整備するため、市民の多様な保育ニーズに応えるとともに、保育所待機児童の解消に努めます。また、家庭で子育てをしている母親への支援の充実に努めます。	61 72	42 52	6 7	7 7	6 6	0 0	7,457,937 7,384,224	8,286,641 8,270,862	7,762,030 7,722,607	7,854,182 0	0 0	●施策目標(1)「地域における子育て支援サービスの充実」 ●施策目標(2)「保育サービスの充実」 ●施策目標(3)「子どもの健全育成の取組」 ●施策目標(4)「体験活動・交流の促進」 ●施策目標(5)「地域における子育て支援のネットワークづくり」 ●施策目標(6)「子育て情報提供の充実」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	12 12	7 7	1 1	1 1	3 3		6,042,845 6,021,459	6,885,583 6,876,603	6,241,344 6,226,153	6,182,105 0	0 0	※(5)ー8「子育て支援プロジェクトチームの設置」は、こども政策課の評価(B)で集計
拡充事業	24 28	14 17	3 4	5 5	2 2		1,237,684 1,206,320	1,256,344 1,228,848	1,345,747 1,325,208	1,500,688 0	0 0	
継続事業	25 32	21 28	2 2	1 1	1 1		177,408 156,445	144,714 165,411	174,939 171,246	171,389 0	0 0	
基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進 すべての子どもが健やかに成長することができるよう、児童虐待の防止や障害を持つ児童とその家庭等への支援策の充実に努めます。	32 41	30 38	2 2	0 0	0 0	0 1	1,548,125 1,500,409	1,637,024 1,582,779	1,680,760 1,619,273	1,679,348 0	0 0	●施策目標(1)「児童虐待防止対策の充実」 ●施策目標(2)「ひとり親家庭等の自立支援の推進」 ●施策目標(3)「障害児施策の充実」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	8 8	7 7	1 1				106,442 98,307	133,420 111,004	124,130 106,237	106,896 0	0 0	
拡充事業	7 11	6 9	1 1			0 1	12,610 12,362	15,001 14,757	18,343 16,790	18,792 0	0 0	
継続事業	17 22	17 22					1,429,073 1,389,740	1,488,603 1,457,018	1,538,287 1,496,246	1,553,660 0	0 0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (総事業数)	平成23年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 〔決算額〕	平成23年度 予算額 〔決算額〕	平成24年度 予算額 〔決算額〕	平成25年度 予算額 〔決算額〕	平成26年度 予算額 〔決算額〕	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進 親子が安心して外出できるよう、公共施設等のバリアフリー化及び防犯対策の推進に努めます。	32 35	27 30	3 3	0 0	2 2	0 0	571,973 363,198	528,151 559,356	754,640 642,654	706,658 0	0 0	●施策目標(1)「良質な住宅・良好な居住環境の確保」 ●施策目標(2)「安全な道路交通環境の整備」 ●施策目標(3)「安全・安心なまちづくり」 ●施策目標(4)「子ども等の交通安全を確保するための活動の推進」 ●施策目標(5)「子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進」 ●施策目標(6)「被害に遭った子どもの支援の」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	3	3					12,615	10,000	20,000	15,000	0	
	3	3					10,958	8,860	19,831	0	0	
拡充事業	3	2	1				286,810	236,440	557,614	475,040	0	
	5	4	1				179,730	283,743	456,500	0	0	
継続事業	26	22	2		2		272,548	281,711	177,026	216,618	0	
	27	23	2		2		172,510	266,753	166,323	0	0	

<合計>	231 276	196 232	17 21	7 10	9 10	2 3	17,404,741 13,597,874	15,414,372 14,006,559	12,730,794 12,274,015	12,157,416 0	0 0	①事業数及び進捗状況の数値は、上段が実事業数で、下段カッコ内は再掲事業を含む総事業数を記載しております。 ②進捗状況及び達成状況(5段階評価)については、各所管課が評価を行っております。
【掲載事業の内訳】												
新規事業	28	21	3	1	3	0	6,162,933	7,030,119	6,386,599	6,305,107	0	
	31	24	3	1	3	0	6,131,709	6,997,577	6,353,346	0	0	
拡充事業	67	50	10	5	2	0	8,989,685	6,068,600	4,055,373	3,564,718	0	
	91	66	14	8	2	1	5,389,912	4,745,134	3,735,002	0	0	
継続事業	136	125	4	1	4	2	2,252,123	2,315,653	2,288,822	2,287,591	0	
	154	142	4	1	5	2	2,076,253	2,263,848	2,185,667	0	0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

3. 重点施策の進捗状況

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)－3	乳幼児健診	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)－9	産婦・新生児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)－10	乳幼児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)－20	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)－28	こども医療費の助成	拡充	A	こども政策課(H24年度まで医療助成課)	

基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)－2	中学生社会体験事業	拡充	A	教育指導課	
(2)－8	川越市教職員研修事業	拡充	A	教育センター(旧 教育研究所)	
(2)－9	少人数学級、少人数指導の充実	拡充	A	学校管理課、教育指導課	
(2)－21	公立学校施設の整備	拡充	A	教育財務課	
(3)－4	家庭教育講座	拡充	A	中央公民館	

基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)－4	市民との協働による父親育児講座	新規	A	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)	

基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)－1	ワークライフバランスの推進・啓発	拡充	B	雇用支援課、男女共同参画課、こども政策課(H24年度まで子育て支援課)、職員課	セミナーの開催やリーフレットの送付等を通じて啓発を行ったが、ワークライフバランスを推進するためにはさらに工夫が必要なため。
(1)－8	一般事業主との連絡会	拡充	B	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)	事業主向けのセミナーを開催したが、参加企業が少なかつたため。

基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	学童保育事業	拡充	A	教育財務課	
(1)-3	病児・病後児保育事業	拡充	C	こども育成課(H24年度まで保育課)	実施施設の増設が遅れているため。
(1)-4	一時的(特定)保育事業	拡充	C	保育課	保育スペースの問題もあり、既存園での実施は難しい。今後新規開園する保育園については当初よりスペースを確保し、実施を促していきたい。
(1)-5	地域子育て支援拠点事業	拡充	B	こども育成課(H24年度まで保育課)	中学校区に1箇所という目標に追いついていないため。
(1)-6	保育所による地域子育て支援事業	拡充	A	保育課	
(1)-7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	B	こども育成課(H24年度まで保育課)	依頼会員に対して提供会員が少ないため。
(2)-1	通常保育事業	拡充	C	保育課	民間保育所等の誘致を図り、定員の増加に取り組んでいるが目標を達成するには誘致が遅れているのが現状である。
(2)-3	統合保育事業	拡充	A	保育課	
(2)-4	土曜保育事業	拡充	A	保育課	
(2)-5	産休明け保育事業	拡充	D	保育課	待機児童が多い中では家庭保育室との連携が必要であり、産休明け保育を実施すると、0~2歳を保育している家庭保育室の事業を圧迫してしまうため。
(2)-6	公立保育所の運営方法の検討	拡充	D	保育課	保育サービスの質の低下を招かぬよう、他市の事例等を詳細に調査・研究していく必要があるため。
(2)-7	法人立保育所への支援	拡充	A	保育課	
(2)-9	認可外保育施設への助成制度	拡充	C	保育課	障害児の保育に対しての助成は実施しているが、運営費等の助成に対しては現在検討中であるため。
(2)-12	保育士研修	拡充	A	保育課	
(2)-13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充	C	保育課	公立園については平成18年から4年連続して実施し、一定の成果を得たが法人立園での実施がないため。
(3)-10	児童館機能の整備	拡充	A	こども育成課(H24年度まで青少年課)	
(3)-17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充	A	地域教育支援課(旧 生涯学習課)	
(6)-1	育児情報発信活動	拡充	A	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)、保育課、健康づくり支援課	
(6)-2	育児サークル支援	拡充	A	保育課、健康づくり支援課	

基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	養育支援訪問事業	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(1)-2	家庭児童相談	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(1)-3	要保護児童対策地域協議会	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	

(1)－6	こんにちは赤ちゃん事業	新規	A	健康づくり支援課	
(2)－1	ひとり親家庭相談	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(2)－2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(2)－13	川越市父子家庭貸付事業	新規	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(3)－12	肢体不自由児認可通園施設	拡充	B	保育課	調査研究中のため。

基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(3)－1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	B	公園整備課	目標事業量である改修箇所数年間20箇所を下回ったため。
(3)－4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	A	道路建設課、街路課、道路環境整備課、建築住宅課(旧 建築課)	
(3)－7	赤ちゃんの駅	新規	A	こども育成課(H24年度まで子育て支援課)	
(4)－1	交通安全教育	拡充	A	安全安心生活課	

進捗状況集計表

	重点施策 事業数	A	B	C	D	E
		順調	やや遅れている	遅れている	当該年度予定なし	終了
基本目標1	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標2	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標3	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標4	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標5	19	10 52.7%	2 10.5%	5 26.3%	2 10.5%	0 0.0%
基本目標6	8	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標7	4	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	44	31 70.5%	6 13.6%	5 11.4%	2 4.5%	0 0.0%

※上段:事業数 下段:%

4 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1- (1) 子どもと親の健康の確保・増進

(単位: 千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	母子保健地域組織育成事業	継続		A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	H23 保健推進員ブロック会議3回 85人 H24 保健推進員ブロック会議3回 90人	H22 C — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保健推進員に対して、市の母子保健事業や乳幼児の事故防止の情報提供をしていく。	健康づくり支援課			
2	事故防止対策	継続	事故防止対策を実施している家庭の割合 100%	A	4か月児健診の会場で事故防止の周知とパンフレットの配付の他、公民館での子育てサロン等で事故防止に関する出前講座、広報等に事故防止の啓発記事の掲載等により、事故防止の周知を図った。	4か月児健診受診児数 H22: 2,590人 H23: 2,961人 H24: 2,708人 出前講座 H22: 7回 406人 H23: 2回 48人 H24: 5回 50人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	健診・育児教室等で事故防止対策に関する啓発活動を行う。	健康づくり支援課			
3	乳幼児健診	拡充	受診率(医療機関での受診率を含む) 100%	A	4か月、1歳6か月、3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達面の健診を行った。 ・4か月児健診(48回) 受診者数2,708人 受診率94.2% ・1歳6か月児健診(48回) 受診者数2,845人 受診率92.9% ・3歳児健診(48回) 受診者数2,745人 受診率89.0%	4か月児健診受診率 H22: 95.4% H23: 95.2% H24: 94.2% 1歳6か月児健診受診率 H22: 92.63% H23: 96.3% H24: 92.9% 3歳児健診受診率 H22: 88.3% H23: 89.8% H24: 89.0%	H22 A 25,448 25,306 H23 A 25,676 25,316 H24 A 27,848 25,400 H25 — 27,848 H26 — — 計 106,820 76,022	4か月、1歳6か月、3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達面の健診を行う	健康づくり支援課			
4	乳幼児相談	拡充		A	保健センター及び南文化会館において乳幼児を対象とした相談を実施した。	H22: 31回 1,895人 H23: 30回 1,599人 H24: 30回 1,595人	H22 A 800 779 H23 A 836 833 H24 A 836 833 H25 — 836 H26 — — 計 3,308 2,445	保健センター及び南文化会館において乳幼児を対象とした相談を実施する。	健康づくり支援課			
5	電話による健康相談	継続		A	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」で相談を実施した。(保健師、栄養士、歯科衛生士が対応)。また、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。	もしも電話相談 H22: 881件 H23: 551件 H24: 461件 女性相談 H22: 96件 H23: 53件 H24: 67件	H22 A 672 651 H23 A 672 672 H24 A 700 679 H25 — 700 H26 — — 計 2,744 2,002	もしも相談、女性相談を実施する。	健康づくり支援課			

6	2歳児親子歯科健診	継続		A	2歳から2歳6か月児とその保護者を対象に歯科健診・歯科指導を実施した。	H22:12回 児337人 保護者264人 H23:12回 児363人 保護者274人 H24:12回 児312人 保護者244人	H22 A 1,545 1,495 H23 A 1,545 1,495 H24 A 1,545 1,495 H25 1,545 H26 計 6,180 4,485	2歳から2歳6か月児とその保護者を対象に歯科健診・歯科指導を実施する。	健康づくり支援課
7	幼児のむし歯予防推進事業	拡充		A	市立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施し、啓発事業として①研修会、②リーフレット・絵本・紙芝居を作成し、配布した。更に、「幼児のむし歯予防推進事業」を企画、立案、評価、検討等を行うため、委員会を実施した。また、事業内容をより充実させるため、検討会を実施した。	会議・研修・関係機関との調整 H22 10回 H23 10回 H24 10回 保健指導 H22 100回 H23 100回 H24 100回 フッ化物洗口実施児童数 H22 791人 H23 833人 H24 810人	H22 A 3,264 3,263 H23 A 3,267 3,267 H24 A 3,267 3,280 H25 3,188 H26 計 12,986 9,810	市立保育園の5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施。啓発事業として、研修会、リーフレット、絵本、紙芝居を配布。委員会等の実施と併せ、フッ化物洗口事業の対象者を拡大し、新たな事業として展開する準備を進める。	健康づくり支援課
8	乳幼児の予防接種	拡充	6か月までのBCG接種率 95% 1歳6か月までの三種混合、麻しん予防接種率 95%	A	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨の他、麻しん風しん混合Ⅱ期Ⅲ期Ⅳ期未接種者に対して個別通知による接種勧奨を行った。11月から三種混合プラス不活化ポリオの四種混合ワクチンが導入された。そのため三種混合の接種率は低下したが、四種混合接種者数を加えると、接種率は上がる。	【接種者】 BCG H22:2,925人 100.48% H23:2,717人 89.6% H24:2,703人 88.88% 三種混合 H22:12,096人 103.84% H23:12,312人 104.2% H24:10,521人 93.07% 麻しん風疹1期 H22:2,834人 97.19% H23:2,916人 96.2% H24:2,952人 97.07% 麻しん風疹2期 H22:2,835人 95.19% H23:2,730人 94.6% H24:2,933人 97.21% 麻しん風疹3期 H22:2,789人 89.16% H23:2,797人 88.5% H24:2,852人 92.53% 麻しん風疹4期 H22:2,438人 73.63% H23:2,486人 76.0% H24:2,101人 62.51% (接種対象者数については、標準的な接種年齢で積算)	H22 A 233,870 233,535 H23 A 233,586 233,586 H24 A 231,570 219,256 H25 107,975 H26 計 807,001 686,377	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨の他、麻しん風しん混合Ⅱ期未接種者に対して個別通知による接種勧奨を継続して行う。	健康づくり支援課
9	産婦・新生児訪問指導	拡充	訪問率(こんにちは赤ちゃん事業を含む) 100%	A	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施した。こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。	H22:2,395件訪問 82.6% H23:2,429件訪問 84.7% H24:2,367件訪問 80.5%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 10,821 H26 計 43,574 29,781	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施する。	健康づくり支援課

10	乳幼児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施した。	H22:妊産婦 112件 乳幼児217件 H23:妊産婦 155件 乳幼児284件 H24:妊産婦 154件 乳幼児278件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 A 60 60 H25 60 H26 計 240 180	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施する。	健康づくり支援課
11	不妊に対する支援	継続	A	特定不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部を助成した。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を実施した。	特定不妊治療助成件数 H22:285件 H23:320件 H24:451件 相談件数 H22:13組 H23:14組 H24:21組	H22 A 40,033 40,033 H23 A 52,230 45,156 H24 A 63,395 63,395 H25 61,500 H26 計 217,158 148,584	特定不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部を助成する。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を実施する。	健康づくり支援課
12	妊婦健康診査	拡充	A	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行った。 委託医療機関での検診が受けられない妊婦を対象に健診費用の一部を助成した。	H22:一般健診14回 延35,529人 H23:一般健診14回 延34,148人 H24:一般健診14回 延36,512人	H22 A 262,594 245,030 H23 A 283,081 250,111 H24 A 269,748 269,748 H25 256,395 H26 計 1,071,818 764,889	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行う。	健康づくり支援課
13	両親学級	拡充	A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24:6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22 A 25 16 H23 A 19 19 H24 A 19 19 H25 19 H26 計 82 54	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
14	マタニティクッキング	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的に調理実習、講話を行った。	H22:5回 40人 H23:6回 60人 H24:6回 61人	H22 A 37 37 H23 A 37 37 H24 A 37 37 H25 37 H26 計 148 111	妊娠5か月以上の妊婦を対象に妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的に調理実習、講話を行う。	健康づくり支援課
15	妊婦歯科健診	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に歯科健診と歯みがき指導を実施した。	妊婦歯科健診 H22:12回 113人 H23:12回 127人 H24:12回 122人	H22 A 650 608 H23 A 650 600 H24 A 650 600 H25 650 H26 計 2,600 1,808	妊娠5か月以上の妊婦を対象に歯科健診と歯みがき指導を実施する。 H25より産後1年未満の産婦も対象とし、受診できる対象の枠を広げた。	健康づくり支援課
16	母子栄養食品の支給	継続	E	低所得者の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	粉ミルクの支給 H22:妊婦3人 乳幼児14人 H23:乳児3人	H22 A 234 204 H23 A 260 59 H24 E - - H25 - H26 計 494 263	社会情勢、他市の状況等を考慮し、23年度より新規受け付けを中止した。 引き続き、両親学級、リーフレットの配付等で栄養指導を実施する。	健康づくり支援課

17	離乳食教室	継続	A	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話と試食を行った。 4～6か月対象、6～8か月対象	4～6か月対象 H22:12回 308組 H23:12回 308組 H24:12回 316組 6～8か月対象 H22:12回 272組 H23:12回 242組 H24:12回 238組	H22 A 150 150 H23 A 150 150 H24 A 150 150 H25 150 H26 計 600 450	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話と試食を行う。	健康づくり支援課
18	おやつと歯みがき教室	継続	A	2歳6か月～4歳未満の児とその保護者を対象におやつづくりの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。	H22:12回 155組 H23:12回 114組 H24:12回 140組	H22 A 83 83 H23 A 75 75 H24 A 75 75 H25 75 H26 計 308 233	2歳6か月～4歳未満の児とその保護者を対象におやつづくりの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また、口腔内の手入れの仕方について指導を行う。	健康づくり支援課
19	育児関連講座等への協力	拡充	A	公民館、育児サークル等からの依頼により保健師、栄養士、歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習等を実施した。	出前講座開催回数 H22:7回 406人 H23:3回 63人 H24:5回 201人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - - H26 計 0 0	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により保健師、栄養士、歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習等を実施する。	健康づくり支援課
20	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施した。	未熟児等訪問指導 H22:73件 H23:98件 H24:85件	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - - H26 計 0 0	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施する。	健康づくり支援課
21	小さく生まれた子どもを持つ親の会	継続	A	ひよこサロン(小さく生まれた子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として、育児不安の軽減を図った。	ひよこサロン H22:11回 延223人 H23:12回 延169人 H24:12回 延142人	H22 A 53 53 H23 A 50 50 H24 A 50 50 H25 50 H26 計 203 153	ひよこサロンを開催し、親同士の交流の場として、育児不安の軽減を図る。	健康づくり支援課
22	ダウン症のある子どもを持つ親の会	継続	A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22:9回 延94人 H23:11回 延88人 H24:11回 延96人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - - H26 計 0 0	いもっこの会を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施する。	健康づくり支援課
23	食物アレルギーのある子どもを持つ親の会	継続	A	ポッポサークル(食物アレルギーのある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の情報交換と仲間づくりを支援した。	ポッポサークル H22:12回 延72人 H23:7回 延35人 H24:6回 延69人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - - H26 計 0 0	ポッポサークルを開催し、親同士の情報交換と仲間づくりを支援する。	健康づくり支援課

24	すくすくクリニック	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22:12回 延65人 H23:11回 延40人 H24:10回 延59人	H22 A 396 396 H23 A 396 363 H24 A 396 330 H25 396 H26 計 1,584 1,089	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援する。	健康づくり支援課
25	発育・発達クリニック	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22:11回 延71人 H23:11回 延71人 H24:23回 延117人	H22 A 960 880 H23 A 960 880 H24 A 1,920 1,840 H25 1,920 H26 計 5,760 3,600	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に診察・相談を行い、発育発達を支援する。	健康づくり支援課
26	子どものこころの健康相談	拡充		E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22:11回 56人 H23:11回 48人	H22 A 960 880 H23 A 960 880 H24 E - - H25 - H26 計 1,920 1,760	平成24年度より、発育発達クリニックと統合し、クリニックにおいて支援していく。	健康づくり支援課
27	多胎児をもつ親の会	継続		A	ハッピーエンジェル(多胎児をもつ親の会)を開催し、育児不安の解消を図った。	ハッピーエンジェル H22:12回 延375人 H23:12回 延175人 H24:12回 延244人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	ハッピーエンジェル(多胎児をもつ親の会)を開催し、育児不安の解消を図る。	健康づくり支援課
28	こども医療費の助成	拡充		A	こどもが必要とする医療を簡便に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 531,467件 支給額 895,236,811円	支給件数 H17 282,228件 H18 293,053件 H19 292,897件 H20 301,391件 H21 290,709件 H22 374,630件 H23 448,135件 H24 531,467件	H22 A 691,919 661,845 H23 A 830,618 793,328 H24 A 1,011,797 952,285 H25 1,082,700 H26 計 3,617,034 2,407,458	こどもが必要とする医療を簡便に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。なお、平成24年10月診療分より通院助成を小学校3年生(9歳年度末)から小学校6年生(12歳年度末)までに拡大を実施した。	こども政策課 (H24年度までは医療助成課)
29	赤ちゃん広場	新規		A	育児サークルの支援として、育児学習・情報交換の場の提供した。	赤ちゃん広場 H22:10回 延496人 H23:10回 延409人 H24:10回 延429人	H22 A 30 30 H23 A 30 30 H24 A 30 30 H25 30 H26 計 120 90	育児サークルの支援として、育児学習・情報交換の場の提供する。	健康づくり支援課
30	母子健康手帳の交付	新規		A	市役所や各出張所にて、届出により妊婦に対して母子健康手帳を交付した。	妊娠届出数 H22:2,961件 H23:2,905件 H24:3,165件 母子健康手帳交付数 H22:3,034件 H23:2,984件 H24:3,256件	H22 A 328 282 H23 A 400 394 H24 A 419 419 H25 400 H26 計 1,547 1,095	市役所や各出張所にて、届出により妊婦に対して母子健康手帳を交付する。	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

1-(2)「食育」の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	保育園等における食育の推進	拡充			A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さ、衛生習慣について栄養教育を行った。 公立保育園20園 各6回	毎年 公立保育園20園 各6回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	毎年実施している内容については継続。 保育所保育指針の保育内容に合わせた食育年間計画を作成し、計画的に食育を推進していく。	保育課	
					A	「保育園職員研修会」において朝食のチラシを配布した。また、市内小学校5校の就学前健診に出向き、朝食の大切さを周知した。	H22「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H23「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H24 朝食のチラシ配布数1402枚	H22 B 40 40 H23 B 40 40 H24 A 40 0 H25 0 — H26 — — 計 120 80	市内小学校33校の就学前健診において、朝食のチラシの配布を実施する予定。	健康づくり支援課	
2	小・中学校における食育の推進	継続			A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22 A 325 — H23 A 325 290 H24 A 250 277 H25 250 — H26 — — 計 1,150 567	学校における食育推進のため、食に関する全体計画の見直しを行う。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求める。学校ファームの活動との関連を図るようにする。	教育指導課	
					A	小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	定着した食指導を引き続き継続していくとともに、他学年への拡大を検討していく。	学校給食課	
					A	栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22 A — — H23 A 25 25 H24 A 25 15 H25 25 — H26 — — 計 75 40	学校における食育推進のため、関係大学から講師を招き、「心と体を育む食育の重要性」「学校での食育の推進」について研修を行っていく。また、川越総合卸売市場を研修会場として、施設見学を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)	

3	地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	学校給食への川越産野菜使用割合 20.0% (平成30年度)	A	地場産農産物の学校給食への利用 19.6% 地場産物を利用した料理教室の開催 地場産物に関する食育資料提供 夏休み料理教室の開催 食育用パネル作成	料理教室開催 毎年2回 毎年地場産物に関するパネル、パワーポイント作成	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	地場産物をPRしていくとともに供給ルートの検討をしていく。	学校給食課
				A	・地場産物の学校給食への利用推進 ・学校給食への安定納入に要する経費への助成	H23 巨峰 950kg 直売価格と給食納入価格差補填 95,000円 納品のために要する経費 53,926円 H24 巨峰797kg 直売価格と給食納入価格差補填 119,550円 納品のために要する経費 46,990円	H22 A 150 147 H23 A 150 148 H24 A 200 167 H25 — 200 H26 — — 計 700 462	24年度同様、引き続き支援していく。	農政課
				A	地場産物を保育園給食に取り入れるため、給食材料納入業者に対し、積極的に納入するよう働きかけた。米については、川越産又は埼玉県産が納入されるようになった。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	給食材料納入業者に今後も働きかけていく。 川越産農産物並びに埼玉県産食材料の出回り期においては、その食材料を積極的に献立に取り入れていく。	保育課
4	情報発信活動	拡充	A	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエブロンシアター等を実施し情報を発信した。 また、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会と共同で作成した食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を配布した。	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会 歯ッピーフェスティバル、健康まつりに参加協力。 絵本と紙芝居 H22 絵本 2,700冊配布 紙芝居 56冊配布 H23 絵本 2,700冊配布 紙芝居 4冊配布 H24 絵本 2,700冊配布	H22 A 126 125 H23 A 126 125 H24 A 129 142 H25 — 50 H26 — — 計 431 392	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエブロンシアター等を実施し情報を発信する。 また、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会と共同で作成した食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を継続して配布する。	健康づくり支援課	
5	乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	A	1歳6か月健診や乳幼児相談の際に栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行った。	栄養相談 H23 1歳6か月児健診 246件 乳幼児相談 267件 H24: 1歳6か月児健診 259件 乳幼児相談 251件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	1歳6か月健診や乳幼児相談の際に栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行う。	健康づくり支援課	

6	食生活改善推進員協議会の活動支援	継続		A	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育を啓発した。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上に努めた。	H22、H23 親子料理教室の実施 1回/年 歯ッピーフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時 H24 親子料理教室の実施 3回/年 歯ッピーフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時	H22 A 45 45 H23 A 45 45 H24 A 45 45 H25 45 H26 計 180 135	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施予定。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育をはじめとする食生活に関わる啓発を予定。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上を図る。	健康づくり支援課
7	地域活動栄養士会との協働	拡充		A	地域活動栄養士の会と共催し、親子に対し食育の推進を図った。	たのしい食育 H22:4回 109人 H23:4回 100人 H24:4回 137人	H22 A 28 28 H23 A 28 28 H24 A 28 28 H25 28 H26 計 112 84	地域活動栄養士の会と共催し、食育の推進を図る。	健康づくり支援課
8	妊娠期・離乳期・幼児期を対象とした食に関する事業における食育の推進	拡充		A	妊娠期から幼児期まで、ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行った。	各事業の実施状況参照	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	妊娠期から幼児期まで、ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行う。	健康づくり支援課

【網掛け】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1-(3) 思春期保健対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				平成25年度の方針	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	薬物乱用防止啓発	継続		A	・保健所窓口やイベント会場(健康まつり会場、夏まつり会場)において、リーフレット等を配布し啓発を行った。 ・健康まつりにキャラバンカーの招致を行った。 ・県と連携し、青少年キャンペーン(参加会場:坂戸駅)に参画する等、薬物乱用防止啓発活動を行った。 ・庁舎電子表示盤等により啓発の広報を行った。		H22 A 92 92 H23 A 69 69 H24 A 72 71 H25 68 H26 計 301 232	引き続き啓発活動に努める。	保健総務課			
					市立小中・高等学校で薬物乱用防止教室を開催。その他、様々な機会を通して児童生徒へ啓発を行った。	市立小・中・高校全校で実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	全市立小中・高等学校で薬物乱用防止教室を開催するなど、教育活動を工夫していく。	教育指導課			

2	思春期保健相談	継続	思春期保健講座 (4クール/年)	A	思春期保健講座 1講座開催 (当初、目標を全4回としていたが、参加者の意向により実施回数を見直し全1回とした)	H22 参加者88名 H23 参加者123名 H24 参加者108名	H22 A 205 92 H23 A 139 98 H24 A 129 33 H25 78 H26 計 551 223	性に関する正しい知識や情報を習得する場として充実させていく。	保健予防課
				A	随時、電話等で思春期の保健相談を実施したが、相談件数はあがらなかった。	相談件数 H22:4件 H23:2件 H24:0件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	随時、電話等で思春期の保健相談を実施する。引き続き事業の周知を行う。	健康づくり支援課
3	子育て体験学習	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22:市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23:市内中学校12校で実施 H24:市内中学校9校で実施	H22 A 54 54 H23 A 350 350 H24 A 350 350 H25 350 H26 計 1,104 754	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課、青少年課)
				A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	社会体験学習及び交流活動をすることで、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	チラシの配付	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課
				A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B — — H23 B — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館
			A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課	

4	思春期健康教育	拡充	出前講座 (10回/年)	A	中学・高校・大学への出前講座 年10回実施	平成22年度 参加者229名 平成23年度 参加者818名 平成24年度 参加者2239名	H22 A 330 33 H23 A 132 165 H24 A 264 330 H25 396 H26 計 1,122 528	依頼に対応し、出前講座の機会を充実させていく。	保健予防課
				A	依頼により健康教育を実施した。	H22:1回 16人 H23:1回 15人 H24:1回 15人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	依頼により健康教育を実施していく。	健康づくり支援課
5	飲酒・喫煙防止対策	継続	未成年の飲酒・喫煙率 0%	A	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成、保健推進員協議会等団体の協力によりラジオ体操や夏祭りなどイベントにて啓発活動を実施した。 「広報川越」に喫煙防止の記事を掲載。 保健推進員の研修において、川越みんなの健康プランにおける「タバコ」の研修を実施した。	H23【研修会】 保健推進員 3回 食生活改善推進員協議会 1回 健康づくりボランティアやまぶき21回 H24【研修会】 保健推進員 3回	H22 A 26 26 H23 A 17 17 H24 A 17 10 H25 10 H26 計 70 53	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成し、啓発予定。 保健推進員等は、「喫煙防止対策」について研修を実施。	健康づくり支援課
6	性感染症対策	拡充	性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回)	A	性感染症検査・相談 月2回(年24回) 即日検査 年12回 計 年36回実施	H22 受検者474名 H23 受検者527名 H24 受検者384名	H22 A 401 281 H23 A 531 327 H24 A 486 410 H25 430 H26 計 1,848 1,018	感染の早期発見のため、検査体制の強化や予防啓発を充実させていく。	保健予防課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

1-(4) 小児医療の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	小児救急医療対策事業	継続		A	川越地区救急医療圏と比企地区救急医療圏の複数にわたり事業を実施する必要があるため、平成17年度より埼玉県が「小児救急医療拠点病院運営事業」として該当医療機関に補助金を交付している。	小児二次救急医療機関数 H23 川越地区:1 比企地区:0 H24 川越地区:1 比企地区:0	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	引き続き埼玉県が事業主体となり実施していく予定である。 なお、比企地区の医療機関の整備状況によっては、特定年度から事業主体が川越市に変更となる可能性がある。	保健医療推進課			
2	休日急患・小児夜間診療事業	継続		A	診療日数365日 患者数 7,777人(うち小児科4,816人)	患者数 H23:5,377人(うち小児科3,864人) H24:7,777人(うち小児科4,816人) ※H23年度までは市立診療所で実施していたが、H24年度からは川越市医師会夜間休日診療所で実施	H22 A 46,206 44,646 H23 A 46,304 44,622 H24 A 37,500 37,500 H25 H26 計 130,010 126,768	川越市医師会夜間休日診療所において、休日及び夜間に軽症の救急患者の診療を実施する事業に対し、必要な補助を行う。	保健医療推進課 (診療所)			

3	未熟児養育医療給付	継続	A	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行った。	受給者 H22:100人 H23:111人 H24:99人	H22 A 29,150 29,150 H23 A 26,312 25,459 H24 A 31,106 27,707 H25 31,106 H26 計 117,674 82,316	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行う。	健康づくり支援課
4	自立支援医療(育成医療)給付	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人 H24:113人	H22 A 7,380 7,380 H23 A 10,150 9,213 H24 A 10,151 7,071 H25 10,131 H26 計 37,812 23,664	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課
5	結核児童療育給付	継続	A	結核児童に対してその児童の心身両面にわたる健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療等の給付をする。	受給者 H22: 0人 H23: 0人 H24: 0人	H22 A 127 — H23 A 127 — H24 A 127 — H25 127 H26 計 508 0	結核児童に対してその児童の心身両面にわたる健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療等の給付を行う。	健康づくり支援課
6	小児慢性特定疾患医療給付	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人 H24:267人	H22 A 50,687 47,266 H23 A 52,929 46,923 H24 A 53,891 51,209 H25 53,891 H26 計 211,398 145,398	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-(1) 次代の親の育成

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	男女平等教育研修会	継続		A	川越市における男女共同基本計画の周知を各教職員に図ると共に、男女平等意識を高める学校での実践についての研修を推進した。「男女平等教育研修会」を実施し、全校の人権教育担当者等に男女共同参画の視点に立った教育の推進についての研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22 A 10 5 H23 A 8 0 H24 A 5 0 H25 5 H26 計 28 5	「男女平等教育研修会」を実施する。各学校・園において、男女平等の重要性や人権尊重、男女の相互理解と協力等、男女共同参画の視点に立った教育を進める。	教育指導課			
					市内各学校の全教職員に川越市における男女共同参画基本計画の周知と、子どもたちの男女平等意識を高める学校での取組について研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22 A 10 5 H23 A 8 0 H24 A 5 0 H25 5 H26 計 28 5			男女共同参画社会の実現を目指し、「男女平等教育研修会」を企画・実施する。研修会では、講義「男女共同参画社会の目指すもの」、報告「学校における男女平等意識を高めるための実践」を行う。	教育センター (旧 教育研究所)	
2	中学生社会体験事業	拡充	実施率 100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所のべ798事業所	H22 A 1,398 1,398 H23 A 1,398 1,375 H24 A 1,398 1,362 H25 1,398 H26 計 5,592 4,135	今年度は昨年度以上に事業所の確保を行い、生徒の主体的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行うべき点に気づける取り組みにする。	教育指導課			

3	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課、青少年課)
				A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	社会体験学習及び交流活動をすることで、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力した。	チラシ配布	H22 B 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課
				A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 B 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	子ども育成課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	小・中学校における食育の推進 (1-(2)-2の再掲)	継続		A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学校における食育推進のため、食に関する全体計画の見直しを行う。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求める。学校ファームの活動との関連を図るようにする。	教育指導課			
					小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	定着した食指導を引き続き継続していくとともに、他学年への拡大を検討していく。	学校給食課			
					栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学校における食育推進のため、関係大学から講師を招き、「心と体を育む食育の重要性」「学校での食育の推進」について研修を行っていく。また、川越総合卸売市場を研修会場として、施設見学を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)			
2	子どもの情報提供事業	継続		A	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年2回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて配布。	H22 2回発行 計57,100部 H23 2回発行 計54,640部 H24 2回発行 計53,700部	H22 A 619 493 H23 A 469 452 H24 A 478 374 H25 391 H26 計 1,957 1,319	長期休業前に、児童生徒に情報誌を配付し、ひとりでも多くの子どもに実際に体験・見学してもらおうことを目指す。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)			
3	臨床心理士配置事業	拡充		A	教育センター分室(リベラ)に1名配置し、学校やリベラにおける相談活動の指導、助言を行った。		H22 A 1,373 1,373 H23 A 1,373 1,464 H24 A 1,373 1,373 H25 1,386 H26 計 5,505 4,210	教育センター分室(リベラ)に1名配置し、学校やリベラにおける相談活動の指導、助言、及び各学校への派遣による訪問相談や教員の指導力の向上を図る研修を実施する。	教育センター (旧 教育研究所)			

4	さわやか相談員配置事業	継続	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に22名配置	H22 中学校22校に22人配置 H23 中学校22校に22人配置	H22 A 26,851 26,072 H23 A 22,007 21,324 H24 A 21,428 19,751 H25 18,705 H26 計 88,991 67,147	中学校22校に1名ずつ、22名を配置し、生徒やその保護者からの相談に応じる。さらに、校種間連携をもとに、各中学校区毎に小学校での相談活動にも対応し、児童やその保護者からの相談にも応じる。また、埼玉県スクールカウンセラーや教育センター分室(リベラ)の教育相談と連携を図りながら、専門的な支援や、継続した相談が必要なケースに対応できるようにする。	教育センター (旧 教育研究所)
5	学校カウンセリング研修事業	継続	A	教職員や川越市さわやか相談員を対象に学校カウンセリングに関する研修を実施した。 学校カウンセリング中級研修会9回 162名 学校カウンセリング初級研修会3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会3回 66名	学校カウンセリング中級研修会 H22 9回 109名 H23 9回 110名 H24 9回 162名 学校カウンセリング初級研修会 H22 3回 21名 H23 3回 12名 H24 3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会 H22 2回 96名 H23 2回 85名 H24 2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会 H22 3回 66名 H23 3回 66名 H24 3回 66名	H22 A 208 169 H23 A 208 163 H24 A 190 157 H25 190 H26 計 796 489	学校教育相談コンサルテーション研修会を通して各学校の教育相談主任の役割や校種間連携を進め、教育相談体制の充実を図るとともに、学校カウンセリング初級、中級研修会、さわやか相談員の研修会を通して、相談活動の質の向上を図る。	教育センター (旧 教育研究所)
6	適応指導教室	継続	A	教育センター分室(リベラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。		H22 A 37 25 H23 A 37 59 H24 A 69 61 H25 61 H26 計 204 145	学習支援や体験活動、人間関係づくりなどを通して、児童生徒一人一人のよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための支援を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)
7	総合的な学習の時間の支援	継続	A	総合的な学習の時間について「特色ある学校づくり研修会」を実施した。小・中学校の代表が実践発表を行い、近隣の小中学校でグループ協議を持ち、情報交換を行うことができた。	特色ある学校づくり研修会 参加者 H22 53名 H23 50名 H24 55名	H22 A 20 20 H23 A 15 0 H24 A 10 0 H25 10 H26 計 55 20	新学習指導要領に対応し、各学校の特色を生かした活動事例の発表者を昨年度より多くし、特色ある活動を広め、情報交換の機会とする。グループ協議の中で、各学校の年間指導計画について情報交換を行ったり、小学校と中学校との連携活動や発達段階に応じた活動内容の確認したりする。	教育センター (旧 教育研究所)
8	川越市教職員研修事業	拡充	A	川越市立学校(小・中・高・特別支援学校)の教職員を対象とした研修会を実施した。研修回数や内容の工夫・改善、見直しを図り、コースによる選択制を拡大することで参加意欲を向上させるとともに参加しやすい体制を整えた。また、今日の教育課題に対応し、臨時研修を実施し、指導力の向上を図ることができた。	H22 104講座 延べ6, 362名参加 H23 106講座 延べ7, 243名参加 H24 110講座 延べ7, 312名参加	H22 A 4,608 3,264 H23 A 3,858 3,672 H24 A 3,835 3,470 H25 3,497 H26 計 15,798 10,406	ライフステージに合った研修を重視し(経験者研修等)、教職経験年数に応じた指導力の向上を図る。奨励研修の見直しを図り、幅広い実践的指導力の向上を目指す。	教育センター (旧 教育研究所)

9	少人数学級、少人数指導の充実	拡充		A	中学校1学年で、1学級あたり概ね35人を超え、かつ県の少人数学級編制に該当しない学年に1学級増を行い、市費採用の臨時講師を配置した。少人数学級のための臨時講師 7校(川越第一中、初雁中、東中、砂中、大東西中、川越西中、山田中)、7名	臨時講師配置校数 17年度…5校 18年度…8校 19年度…8校 20年度…10校 21年度…5校 22年度…6校 23年度…9校 24年度…7校	H22	A	25,037	21,521	25年度は、新たにオールマイティーチャー事業を実施し、学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。	学校管理課
							H23	A	35,171	32,956		
				A	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導を行った。	県費による指導方法工夫・改善加配教員配置 100%	H22	A	—	—	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導をとおして、基礎学力の定着を図る。	教育指導課
				A			H23	A	—	—		
				A			H24	A	—	—		
				A			H25		—	—		
				A			H26		—	—		
				A			計		0	0		
10	教育副読本の整備	継続		A	新学習指導要領の全面实施に対応し、地域や児童の実態を考慮した小学校3・4年生の社会科の副読本を整備した。	小学校32校へ配布	H22	A	4,710	4,002	統計資料や写真資料等の見直し、差しかえ等を行い、よりよい副読本の整備を行っていく。	教育指導課
				A			H23	A	4,820	3,876		
				A			H24	A	4,688	3,806		
				A			H25		4,708			
				A			H26					
				A			計		18,926	11,684		
11	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充		A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議のもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所 のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所 のべ798事業所	H22	A	再掲	再掲	今年度は昨年度以上に事業所の確保を行い、生徒の主体的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行すべき点に気づける取り組みにする。	教育指導課
				A			H23	A	再掲	再掲		
				A			H24	A	再掲	再掲		
				A			H25		再掲			
				A			H26					
				A			計					
12	国際理解教育	継続		A	小学校外国語活動及び中学校英語科の授業を効果的に推進するため、指導力の向上を目指した研修会を実施した。国際理解教育の推進・充実を図る研修会を実施した。	国際理解教育研修会年(小・中学校) H22 年4回 延べ173名参加 H23 年3回 延べ116名参加 H24 年3回 延べ109名参加 小学校英語活動指導者研修会 H22 年4回 延べ120名参加 H23 年2回 延べ 72名参加 H24 年2回 延べ 65名参加 英語科授業づくり研修会(中学校) H22 年3回 11名参加 H23 年2回 38名参加 H24 年2回 48名参加 AETと楽しむ英会話研修会(小・中) H22 年1回 14名参加 H23 年1回 11名参加 H24 年1回 14名参加	H22	A	50	40	小学校外国語活動及び中学校英語科の授業において効果的な授業が推進できるよう、指導力の向上を目指した研修会を実施していく。国際理解教育の推進・充実が図れるような研修会を実施していく。	教育センター(旧 教育研究所)
				A			H23	A	50	25		
				A			H24	A	35	38		
				A			H25		35			
				A			H26					
				A			計		170	103		

13	情報教育	継続		A	児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、校務の効率化を図るため、情報機器操作能力の向上を目的とした教職員の研修会を実施した。 今年度も管理職対象の研修会や、地域の方々を対象にしたパソコン操作研修会を実施した。 リース期間終了の小学校6校の教育用コンピュータの更新及び小学校26校・中学校12校に電子黒板を各1台ずつ追加導入した。	やさしいパソコン操作研修会(ワープロ・表計算)パソコンプレゼンテーション研修会(基本・応用)パソコンホームページ研修会(作成・更新) 授業に役立つパソコン活用研修会(IC・情報モラル)、初任者研修、5年経験者研修、管理職のためのICT研修会 H23: 研修会参加者延べ339名 地域対象研修会延べ35名 教育用コンピュータ更新校10校(中) H24研修会参加者延べ546名 地域対象研修会延べ13名 教育用コンピュータ更新6校(小) 電子黒板追加導入(小26校、中12校)	H22 A 119,704 115,657 H23 A 140,343 136,343 H24 A 131,979 97,187 H25 121,708 H26 計 513,734 349,187	それぞれの研修会の内容の見直しを図り、充実させ、参加人数の増加を目指す。昨年度に引き続き、デジタル教科書の活用率を上げるための、電子黒板・デジタル教科書活用法の臨時研修会を実施する。 校内LANの施設に向けて、効果等の研究を進めていく。	教育センター (旧 教育研究所)
14	土曜子ども体験	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。24年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回	H22 A 60 60 H23 A 60 78 H24 A 78 96 H25 96 H26 計 294 234	今後も、プログラムを見直し、よりニーズに合った内容を考えて実施していきたい。また、土曜日だけでなく日曜日の開催も行っていく。	博物館
15	子ども博物館教室	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候もよく3回すべて実施することができた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回	H22 A 18 24 H23 A 12 12 H24 A 12 24 H25 24 H26 計 66 60	1日かけてじっくり取り組めるプログラムとし、今後も川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で、毎年数種類更新して実施していく。	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯籠作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回	H22 A 12 — H23 A 12 — H24 A 12 — H25 — H26 計 36 0	今後も、夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容を実施していく。	博物館
17	昔の遊び	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリ作り等の体験を行った。 2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	今後も、昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施していく。	博物館
18	人権教育	継続		A	人権作文集「あけぼの」を毎年3、150部発行。 「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日間開催	H22 絵画展入場者数192人 H23 絵画展入場者数262人 H24 絵画展入場者数176人	H22 A 455 358 H23 A 286 265 H24 A 284 351 H25 285 H26 計 1,310 974	市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権作文「あけぼの」を3、150部発行予定。 「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日間開催予定。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)

19	人権啓発事業	継続	講演会参加者数 300人	A	講演会参加者数255名 啓発冊子等配布数1,490冊 啓発ビデオ貸出数18件 講演会実施回数1回 広報掲載回数4回 啓発用品の駅頭等配布数8,603個	講演会参加者数 H22:279名 H23:224名 啓発冊子等配布数 H22:1,416冊 H23:2,537冊 啓発ビデオ貸出数 H22:61件 H23:43件 講演会実施回数 H22:1回 H23:1回 広報掲載回数 H22:12回 H23:12回 啓発用品の配布数 H22:6,421個 H23:6,636個	H22 A 1,654 1,090 H23 A 1,586 1,123 H24 A 1,912 1,587 H25 1,340 H26 計 6,492 3,800	①講演会の開催 ②市内の公的施設及び駅等啓発において啓発用品配布 ③ビデオを購入し、学校・企業へ貸出等により人権啓発を積極的に推進してまいります。	人権推進課
20	学校部活動補助事業	継続		E	予算縮減のため、平成21年度で事業が終了しました。		H22 E — — H23 E — — H24 E — — H25 — — H26 計 0 0		教育指導課
21	公立学校施設の整備	拡充	公立学校施設の耐震化率 100%	A	耐震補強工事実施 校舎・体育館 1校 校舎 5校 耐震化率 100%	耐震補強工事実施 校舎・体育館 H22:2校 H23:2校 H24:1校 校舎 H22:3校 H23:9校 H24:5校 体育館 H22:16校 H23:4校 全体 229棟 内訳 新耐震基準及び耐震化済み等 229棟 耐震補強工事未実施 0棟	H22 A 6,154,393 2,749,817 H23 A 3,093,982 1,826,665 H24 A 503,060 387,011 H25 H26 計 9,751,435 4,963,493	川越市小中学校大規模改造計画に基づいて、大規模改造工事を実施。	教育財務課
22	育児関連講座	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延べ人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延べ人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 A 365 500 H23 A 414 594 H24 A 322 442 H25 299 H26 計 1,400 1,536	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催する。	中央公民館
23	幼保小連絡懇談会の実施	継続	小学校32校 幼稚園32園 保育園33園	A	「幼保小連携の在り方」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。		H22 A 84 78 H23 A 84 85 H24 A 91 42 H25 6 H26 計 265 205	・32幼稚園と33保育園、32小学校を6グループに分けて実施している幼保小連絡懇談会は、公開授業や公開保育を実施するグループが増えた。 ・『連携実践事例集』等をもとに充実した話し合いによって、教員、保育士の資質向上や幼保小の連携強化等成果を上げている。	教育指導課

24	川越市子ども読書活動推進計画第2次の策定・推進	拡充		A	家庭向け読書活動啓発リーフレット「自ら本に手を伸ばす子に」を小学校新入学児童の保護者に保護者会の折に配布した。年1回の司書教諭研修会、年4回の図書整理員研修会を実施し、資質の向上を図った。		H22 A — — H23 A — — H24 A 132 61 H25 132 H26 計 264 61	第2次川越市子ども読書活動推進計画に基づき、学校、家庭、地域が一体となって子どもが読書に親しむ諸条件の整備充実に努める。	教育指導課
25	学校図書館図書の整備	拡充	整備率 100%	B	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 小学校 78.0% 中学校 90.8%	図書標準達成率 H23 小学校74.8% 中学校85.7% (前年度より3ポイント程度上昇) H24 小学校 78.0%(+3.2) 中学校 90.8%(+5.1)	H22 B 31,606 30,453 H23 B 31,916 30,617 H24 B 29,920 30,727 H25 30,650 H26 計 124,092 91,797	適正な廃棄作業と計画的な蔵書購入を行い、蔵書数の増加を図るとともに、質と利用価値の向上に努める。	教育指導課
26	小・中学生の読書活動の推進	継続	達成率 100%	A	読書習慣を形成するため、小学生対象の読書マラソンの実施、中学生対象の読書手帳の配布を行った。	H23 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は52.5冊、昨年比+2.9冊 ・学校図書館平均貸し出し冊数 小学校 21.8冊(昨年比 +0.6冊) 中学校 3.4冊(昨年比 +0.4冊) H24 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は48.9冊、昨年比-3.6冊 ・学校図書館平均貸し出し冊数 小学校 23.7冊(昨年比 +2.6冊) 中学校 5.0冊(昨年比 +1.6冊)	H22 A 318 280 H23 A 318 318 H24 A 317 242 H25 318 H26 計 1,271 840	第2次川越市子ども読書活動推進計画に基づき小学生対象の読書マラソンの取組、中学生対象の読書手帳配布を継続する。	教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	教育相談・就学相談事業	継続		A	相談者のニーズに応じて関係諸機関と連携し、臨床心理士のスーパーバイズを得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。また、発達や就学に関する相談に応じた。 ・相談件数(延べ)3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22 ・相談件数(延べ) 3,383件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H23 ・相談件数(延べ) 2,991件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H24 ・相談件数(延べ) 3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22 A 3,418 3,208 H23 A 3,289 3,070 H24 A 2,980 2,676 H25 2,173 H26 計 11,860 8,954	いじめ・不登校、学習・発達、ことばの相談や就学に関する相談など、教育に関するあらゆる相談に応じていく。	教育センター (旧 教育研究所)		
2	不登校児童生徒保護者セミナー	継続		A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じた。 ・3回実施	H22 3回実施 H23 3回実施 H24 3回実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	年間3回実施し、それぞれ「子どもが登校をしぶったとき」「生活リズムづくり」「登校へのきっかけづくり」について考え、話し合う機会とする。	教育センター (旧 教育研究所)		

3	家庭教育学級	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施。 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273会(延べ回数)	H22 A 2,160 2,160 H23 A 2,160 2,160 H24 A 2,160 2,160 H25 2,160 H26 計 8,640 6,480	多くの保護者が講座に出席できる環境づくりと、講座内容の充実を図りながら、市内小中学校54校でPTA家庭教育学級を実施する。親の役割や子どもへの理解、人権教育など、PTA・学校ならではの講座を実施していく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
4	家庭教育講座	拡充	25講座	A	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 A 1,834 1,430 H23 A 1,699 1,395 H24 A 1,822 1,401 H25 1,669 H26 計 7,024 4,226	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館
5	総合型地域スポーツクラブ	拡充	3クラブ 設置・育成	A	3クラブの設置。芳野スポーツクラブでは、自主的な運営を行い、13事業を行い537名の参加者を得た。川越公園クラブについては、充実した施設設備を活用して、クラブ事業、スクール事業を展開した。山田地区では創設支援事業を実施し、平成25年3月に『川越山田スポーツクラブ』として設立した。	H22 2クラブ H23 2クラブ H24 3クラブ	H22 B 250 250 H23 A 250 250 H24 A 750 500 H25 500 H26 計 1,750 1,000	福原地区で、クラブ設立を目指すか検討を行う。検討に当たっては、県体育協会と連携していく。既存3クラブについては事業内容の充実を図る。	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
6	スポーツ少年団	継続		A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,060名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名	H22 A 850 649 H23 A 850 472 H24 A 850 532 H25 850 H26 計 3,400 1,653	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
7	学校体育施設開放事業	継続		A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6~9月)、牛子小・高階西小・福原小の学校プール開放(7月)を行った。	H22 学校体育施設開放参加者数369,728名。霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数112名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数189名。 H24 学校体育施設開放参加者数407,529名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。	H22 A 13,174 12,036 H23 A 11,550 11,092 H24 A 11,480 10,405 H25 11,263 H26 計 47,467 33,533	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)

8	人材バンク	継続		A	地域子どもサポート事業では、各地区子どもサポート委員会が、人材確保のため、登録を行った。	H22 子どもサポート委員の人数 569人(前年比103.1%) H23 子どもサポート委員の人数 572人(前年比100.5%) H24 子どもサポート委員の人数 607人(前年比106.1%)	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子どもサポート委員の増加と活用 のための支援に取り組んでいく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
9	学生ボランティアの活用	継続		A	各地区の子どもサポート事業のなかで、学生ボランティアを活用した学習支援事業が行われた。	学生ボランティアを活用した学習支援事業の全事業数 H22 17事業 H24 17事業 H23 21事業 事業の参加者合計人数 H22 約600人 H24 1,018人 H23 815人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	地域の大学・高校との連携を進めて、 学生ボランティアによる学習支援事業を進めていく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
10	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	認定件数 1,540件 (H24までの 目標事業量)	A	・省エネナビコース:6件認定 ・簡易電力計コース:35件認定 ・省エネ家計簿コース:3件認定 ・省エネワークブックコース:55件認定 平成24年度までに、述べ1,263件の家族をエコチャレンジファミリーとして認定している。 震災の影響での電力不足による節電意識の高まりを受け、従来のコースを一時停止し、簡易電力計コースで利用しているワットチェッカーの貸出しに絞って事業を行った。	省エネナビコース(累計:129件認定) H22:9件認定 H23:0件認定 H24:6件認定 簡易電力計コース(累計:331件認定) H22:16件認定 H23:93件認定 H24:35件認定 省エネ家計簿コース(累計:91件認定) H22:5件認定 H23:0件認定 H24:3件認定 省エネワークブックコース(累計712件認定) H22:122件認定 H23:112件認定 H24:55件認定 ゴールド・エコチャレンジファミリー(累計:34件認定) H22:4件認定 H23:0件認定 H24:2件認定	H22 A 47 17 H23 A 75 60 H24 A 44 43 H25 — 27 H26 — — 計 193 120	省エネナビコース、省エネ家計簿 コースを再開し、省エネの取組を推進する。	環境政策課
11	市民環境調査	継続	開催回数 (年度):1回	A	「湧水めぐり」を実施した。 (1回実施。参加者数8人)	H22:1回実施 H23:1回実施 H24:1回実施	H22 A 74 61 H23 A 16 12 H24 A 65 41 H25 — 26 H26 — — 計 181 114	市民参加型の環境調査を1回実施 予定。	環境政策課

12	星空観察の集い	継続		開催回数 (年度):2回	A	夏期を8月に実施し(参加者数42人)、冬期を1月に実施した(参加者数21人)。	H22:2回実施 H23:2回実施 H24:2回実施	H22 A 58 52 H23 A 58 24 H24 A 58 39 H25 47 H26 計 221 115	2回実施予定。	環境政策課
13	環境展inさんばく	継続		開催回数 (年度):1回	A	環境関連企業、環境に配慮した取組を実施する企業、川越市環境部等が出展し、環境に配慮した商品やサービス、取組等を来場者にPRした。	参加者数 平成18年度623名 平成19年度284名 平成20年度786名 平成21年度765名 平成22年度台風により中止 平成23年度1,000名 平成24年度600名	H22 D — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	環境関連企業、環境に配慮した取組を実施する企業、川越市環境部等が出展し、環境に配慮した商品やサービス・取組等を来場者にPRする。	環境政策課
14	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続			A	名称を「夏休み親子リサイクル講座」に改め、内容をリニューアルしたものを実施。つばさ館でのリサイクル講座「割り箸鉄砲づくり講座」と「変わり絵ボックスづくり講座」を実施し2日で計24名参加。	【H21年度】2日で計43名参加。 【H22年度】2日で計26名参加。 【H23年度】東日本大震災により施設が一部破損したことや、節電対応のため、中止。	H22 A 6 6 H23 D 2 — H24 A 0 0 H25 0 H26 計 8 6	年度1回以上開催予定。	資源循環推進課
15	市民の森	継続			A	(1)維持管理 清掃業務委託(月3回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第1号ほか1箇所整備工事	H22:8箇所 H23:8箇所 H24:8箇所	H22 A 7,836 6,834 H23 A 7,127 6,314 H24 A 6,111 6,070 H25 5,687 H26 計 26,761 19,218	散歩や休憩で利用されるほか、一部の森では、子供たちの自然学習の場としても利用されている。良好な自然環境を保つために、定期的な維持管理と、不都合箇所の改修を行っていく。新規指定については、維持管理に経費が嵩むこともあり、慎重に候補地を選定する必要がある。	環境政策課
16	こどもエコクラブ	継続		イベント開催回数 (年度):2回	A	8月に研修会(内容:川での伝統漁法の体験学習等)、2月に発表会(内容:1年間のクラブ活動を報告)を実施した。	H22:2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H23:2回実施 登録クラブ数:4クラブ・54会員 H22:2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H24:2回実施 登録クラブ数:4クラブ・192会員	H22 A 111 49 H23 A 93 95 H24 A 114 67 H25 109 H26 計 427 211	2回実施予定。	環境政策課
17	エコチャレンジスクール	継続			A	川越市内小・中・高・特別支援学校の全56校がエコチャレンジスクール認定校となり、各学校において工夫した取組を行った。実践報告書を作成し、市内各学校に配布した。	エコチャレンジスクール認定校 H22 認定申請校19校、継続更新校37校 H23 認定申請校19校、継続更新校37校 H24 認定申請校18校、継続更新校38校	H22 A 165 35 H23 A 120 34 H24 A 53 34 H25 35 H26 計 373 103	川越市内小・中・高・特別支援学校の全56校がエコチャレンジスクール認定事業に取り組む。活動内容をまとめた実践報告書を作成し、市内各学校に配布する。	教育センター (旧 教育研究所)

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

3-(1) 親の学びの機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24:6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課			
2	育児関連講座 (2-(2)-22の再掲)	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延べ人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延べ人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催する。	中央公民館			
3	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延べ人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延べ人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延べ人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延べ人数 3,881人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館			
4	市民との協働による父親育児講座	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・防災学 アウトドア流の命を守るための危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。 ・誕生学 赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で過ごし、誕生日にどんな力を発揮して生まれてきたかなど、命の大切さを学ぶ。	H22:2日間で延べ26組、73人の参加 H23:2日間で延べ22組、38人の参加 H24:2日間で延べ32組、73人の参加	H22 A 66 66 H23 A 66 66 H24 A 66 66 H25 — H26 計 198 198	父親向けの講座としては、公民館でも実施されるようになってきており、子育てサロンについても父親向けに開催されていることから、こども政策課としては講座を実施せず、埼玉県が作成した「イクメンの素もと」(育児初心者への父親向けに育児のヒント集)の閲覧しやすい環境作りなどで、父親の育児サポートをしていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)			

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5に掲載)	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	H26年度竣工予定の地域振興ふれあい拠点施設での子育て支援拠点の新規開設を視野に入れて、事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	こども育成課(H24年度まで:保育課)			
2	家庭教育学級 (2-(3)-3の再掲)	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273回(延べ回数)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	多くの保護者が講座に出席できる環境づくりと、講座内容の充実化を図りながら、市内小中学校54校でPTA家庭教育学級を実施する。親の役割や子どもへの理解、人権教育など学校・PTAならではの学びを提供していく。	地域教育支援課(旧 生涯学習課)			
3	イベント等への参加促進	拡充		B	各課へイベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。 子育て支援課において実施した会議等の通知文には、託児の案内を明記し、希望者には託児を実施して、子育て中の親の参加を促進した。	子育て支援課の会議 H22: 託児7回実施 H23: 託児4回実施 H24: 託児3回実施	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 — — H26 計 0 0	各課の会議、イベント等の際に託児を設けることにより、子育て中の親の社会参画の機会を提供することができたが、さらに周知方法やボランティアの活用方法等を工夫する必要がある。	こども政策課(H24年度まで:子育て支援課)			

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課	
							年度	進捗状況	予算額	決算額			
1	ワークライフバランスの 推進・啓発	拡充	セミナー年2 回 就業規則等で 育児休業制度 を規定してい る割合 70%	A	一般事業主連絡会において仕事と家庭の両立を推進するためのセミナーを行った。「子育て世代の働き方」「次世代育成支援対策推進法について」	H22 次世代育成支援セミナーと労働法セミナーを開催 参加者57名 H23 両立支援セミナー 24名 労働学院 40名 H24 仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー 参加者 32名	H22 A 52 51 H23 A 52 50 H24 A 50 0 H25 50 H26 計 204 101	引き続き労使双方を対象に実施していく。	雇用支援課				
					・H25年1月に企業啓発研修:「子育て世代の働き方」を雇用支援課及び子育て支援課と共催し、事業主や人事労務担当者に対し次世代支援育成に関するセミナーを行うことができた。 ・H25年2月に男女共同参画職員研修:「仕事と家庭の調和の実践について」を職員課と共催し、職員に対して男女共同参画意識を高めるための講演会を行った。	H22 ・企業啓発研修参加者 10社 ・職員研修参加者 81名 H23 ・企業啓発研修参加者 11社 ・職員研修参加者 86名 H24 ・企業啓発研修参加者 8社 ・職員研修参加者 78名	H22 A 30 30 H23 A 15 27 H24 A 15 15 H25 15 H26 計 75 72			労使双方へあらゆる機会を通じて啓発活動に努める。	男女共同参画課		
					・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を実施した。「子育て世代の働き方」についての講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。	H22:セミナー1回 参加者数26名 H23:セミナー1回 参加者数24名 H24:セミナー1回 参加者数32名	H22 B 10 - H23 B 10 - H24 B 10 11 H25 10 H26 計 40 11					セミナーやHP等を通じてワークライフ・バランスを推進・啓発していく。セミナーについては、事業主や企業の人事労務担当者に限らず、興味を持つ一般の方も参加できるようにして幅広く周知する。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
					特定事業主行動計画について、課長級に昇任した職員を対象に説明会を実施し、職員の仕事と子育ての両立支援に関する意識啓発を行った。	H22:研修1回(8/3) 参加人数37人 H23:研修1回(8/2) 参加人数18人 H24:研修1回(7/18) 参加人数17人	H22 B - - H23 B - - H24 B - - H25 - H26 計 0 0						
2	ハローワーク求人情報の提供	継続	提供箇所数 15箇所	A	ハローワーク川越求人情報を本庁、出張所、南連絡所、サンライフ川越で配布し、市ホームページに掲載し毎週更新して提供した。	H22:15箇所にて配布 H23:15箇所にて配布 H24:15箇所にて配布	H22 A - - H23 A - - H24 A - 0 H25 - H26 計 0 0	引き続き最新の求人情報を提供していく。	雇用支援課				

3	求職相談	継続		相談件数 年200件	A	10月に川越しごと支援センターを開所し、ハローワーク川越の職業相談・職業紹介およびしごと相談員によるしごと相談、県キャリアセンターランチ・ジョブナビゲーションのキャリアカウンセリング・心理カウンセリングを実施し、広く相談に応じられる体制とした。	H22 ・しごと相談 80件 ・団塊世代第2ステージ相談 9件 ・キャリア・心理カウンセリング176件 H23 ・しごと相談 115件 ・団塊世代第2ステージ相談 2件 ・キャリア・心理カウンセリング216件 H24 ・川越しごと支援センター利用者 延4,345人 ・しごと相談 254件 ・キャリア・心理カウンセリング209件	H22 A 2,140 2,130 H23 A 2,256 2,276 H24 A 2,738 2,008 H25 4,080 H26 計 11,214 6,414	しごと支援センターの周知を図るとともに、しごと相談員を増員し、より多くの相談に応じられるようにする。	雇用支援課
4	就労支援事業	継続		講座開催 年12回	A	川越しごと支援センターにおいて、就職活動に役立つ基本的な知識や応募書類・面接などの実践や、就労に必要なスキルを身につけるセミナーを開催した。 ・再就職支援セミナーI、II ・中高年のための就職セミナー ・就職力アップセミナー ・パソコンスキルアップセミナー ・介護の仕事入門講座 ・ランチ・ジョブナビセミナー ・保護者のための「わが子」の自立支援セミナー ・中高年就職支援セミナー	・H22 6事業28回 延べ受講者245人 ・H23 8事業29回 延べ受講者367人 ・H24 9事業38回 延べ受講者669人	H22 A 936 715 H23 A 950 764 H24 A 1,711 1,503 H25 2,500 H26 計 6,097 2,982	川越しごと支援センターにおいて、就職活動に関するセミナー（月2回以上）や就職後に必要なスキルを身につけるセミナーを開催する。	雇用支援課
5	就職面接会	継続		開催数 年2回	A	ハローワーク、近隣市町と共催で若者就職面接会、障害者就職面接会を実施した。	・H22 3回実施 参加求職者456人 ・H23 3回実施 参加求職者431人 ・H24 3回実施 参加求職者444人	H22 A 400 296 H23 A 400 347 H24 A 368 304 H25 330 H26 計 1,498 947	ハローワーク川越等と連携して引き続き実施する。	雇用支援課
6	労働基本調査	継続			A	川越市内の事業所の雇用・労働状況を把握するため調査を実施した。（4年に1回実施）	市内の就業員数5名以上の2000事業所を抽出して調査を実施した。	H22 D — — H23 D — — H24 A 0 3,690 H25 — H26 計 0 3,690	4年に1度の調査のため実施しない。	雇用支援課
7	労働相談	継続		開催数 年12回	A	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を実施した。	・H22 開催回数 17回 相談14件 ・H23 開催回数 18回 相談6件 ・H24 開催回数 12回 相談6件	H22 A 192 180 H23 A 192 192 H24 A 120 120 H25 120 H26 計 624 492	労使双方に労働問題について気軽に専門家に相談できる場を提供し、さらにPRを図っていく。	雇用支援課

8	一般事業主との連絡会	拡充	参加企業数 年50社	B	・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方をを対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を実施した。「子育て世代の働き方」についての講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。	H22:参加企業数10社 参加者数26名 H23:参加企業数11社 参加者数24名 H24:参加企業数8社 参加者数32名	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 — — H26 — — 計 0 0	参加者が少ないため、企業の規模に関わらず、多くの企業が参加していただけるように幅広く周知する。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
9	女性の就労支援事業	継続		A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座 23回 延べ423名 ・日商簿記3級講座 20回 延べ302名 ・医療事務講座 20回 延べ322名 ・介護事務講座 16回 延べ308名 ・調剤事務講座 10回 延べ78名 ・FP技能士3級講座 4回102名	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名 H24 受講者数 述べ1,535名	H22 A 8,096 7,698 H23 A 8,093 7,471 H24 A 7,292 7,086 H25 7,297 H26 — — 計 30,778 22,255	引き続き、女性のニーズに応じた就学支援や、社会の動きに対応できる資格支援に努める。	女性会館
10	特定事業主行動計画	新規		A	特定事業主行動計画の後期計画「次世代育成支援のプログラムⅡ～仕事と子育ての両立支援～」の実施状況を全所属へ通知し、その中で育児参加休暇等を取った男性職員の声を紹介するなど制度周知を行った。また、全職員へ休暇等ハンドブックを配布した。	H22: 出産補助休暇96.3%・育児参加休暇59.3%・年休(1人当たり)14.1日 H23: 出産補助休暇93.6%・育児参加休暇57.4%・年休(1人当たり)14.5日。育児休暇を取得した男性職員の体験談を周知した。 H24: 現時点では未集計	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	行動計画について引き続き職員に周知し、職員が仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備に努める。	職員課
11	母子家庭等就業・自立支援センター事業 (6-(2)-8に掲載)	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 15人 パソコン講座 20人 就労相談 287人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 20人 287人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、託児付き講座等の開催、就労相談の実施により、就労面から母子家庭の自立を支援していく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
12	母子自立支援プログラム策定事業 (6-(2)-11に掲載)	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかに継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 15件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件 H24 プログラム策定件数 15件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、継続的な就労支援を行っていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)

4-(2) 仕事と子育ての両立の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	ファミリー・サポート・センター事業 (5-(1)-7に掲載)	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人 活動件数 7,688件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
2	学童保育事業 (5-(1)-1に掲載)	拡充		A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。 【1,916人】	年度当初入室児童数 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課			
3	病児・病後児保育事業 (5-(1)-3に掲載)	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、2施設にて事業を実施。1施設定員3名。【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	病児・病後児保育実施施設の増設を図る。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
4	一時的(特定)保育事業 (5-(1)-4に掲載)	拡充		C	公立保育園5園、法人保育園9園で実施。 【14箇所・7,275人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今後新たに開設する新規保育所に事業実施を依頼し、事業の拡充に努めていく。	保育課			
5	法人立保育所への支援 (5-(2)-7に掲載)	拡充		A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課			

6	家庭保育室委託事業 (5-(2)-8に掲載)	拡充		B	市内の家庭保育室22箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育業務を家庭保育室に委託するにあたり、助成の充実を図る。 新たに家庭保育室を指定する。	保育課
7	認可外保育施設への助成制度 (5-(2)-9に掲載)	拡充		C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	制度の仕組み等の検討、調査の実施	保育課
8	認可外保育施設等の認可化支援 (5-(2)-10に掲載)	継続		D	事業なし		H22 D 再掲 再掲 H23 D 再掲 再掲 H24 D 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	助成制度を設け推進を図る。	保育課
9	幼稚園での預かり保育事業 (5-(2)-11に掲載)	継続		A	(人数割(1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×65人=19,500,000円 3歳以上 170,000×441人=74,970,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	補助対象園児数 H18 366人 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	幼稚園預かり保育の推進に努める。	こども政策課 (H24年度まで:保育課)
10	男女共同参画の促進	新規		A	市民との協働委託事業として、情報紙(イーブン)を年2回各5,000部発行した。	H22 第32号、第33号 各5,000部発行 H23 第34号、第35号 各5,000部発行 H24 第36号、第37号 各5,000部発行	H22 A 607 607 H23 A 620 620 H24 A 610 610 H25 610 H26 計 2,447 1,837	引き続き、情報紙の発行を通じ、男女共同参画社会の形成を目指した社会的気運の醸成に努める。	男女共同参画課
				A	女性の社会参画を促進するため、就労支援や資格取得を目標とした各種講座を実施した。 また、国・県と協力して各種セミナーの案内や育児休業等のリーフレットを配布した。	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名 H24 受講者数 述べ1,535名	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	引き続き、女性のニーズに応じた就労支援や社会の動きに対応できる資格支援に努める。	女性会館

11	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	ブレバパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24:6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
12	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館
13	市民との協働による父親育児講座 (3-(1)-4の再掲)	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・防災学 アウトドア流の命を守るための危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。 ・誕生学 赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で過ごし、誕生日にどんな力を発揮して生まれてきたかなど、命の大切さを学ぶ。	H22:2日間で延べ26組、73人の参加 H23:2日間で延べ22組、38人の参加 H24:2日間で延べ32組、73人の参加	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	父親向けの講座としては、公民館でも実施されるようになってきており、子育てサロンについても父親向けに開催されていることから、こども政策課としては講座を実施せず、埼玉県が作成した「イクメンの素もと」(育児初心者への父親向けに育児のヒント集)の閲覧しやすい環境作りなどで、父親の育児サポートをしていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(1) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	学童保育事業	拡充	2,251人	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。 【1,916人】	年度当初入室児童数 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 A 433,887 426,872 H23 A 432,038 426,057 H24 A 472,157 463,200 H25 510,402 H26 計 1,848,484 1,316,129	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課			
2	学童保育室施設整備事業	新規		A	唯一小学校敷地外に設置されていた高階南学童保育室の高階南小学校内への移転工事を行った。建設から30年以上経過し老朽化している高階西学童保育室の改築工事設計を行った。	H22 2学童整備 H23 1学童工事設計 H24 1学童移転工事、1学童工事設計	H22 A 433,887 426,872 H23 A 432,038 426,057 H24 A 472,157 463,200 H25 510,402 H26 計 1,848,484 1,316,129	老朽化した高階西学童保育室の改築工事及び山田学童保育室の改築工事設計を行う。修繕等により学童保育室の環境整備を行うとともに、学童保育室の狭隘化、老朽化へ対応するための計画の見直しを進める。	教育財務課			
3	病児・病後児保育事業	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、新たに1施設(定員:3人)を増設したことにより、2施設にて事業を実施。 【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】	H22 C 9,692 9,600 H23 C 15,516 13,400 H24 C 19,318 19,200 H25 19,314 H26 計 63,840 42,200	病児・病後児保育実施施設の増設を図る。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
4	一時的(特定)保育事業	拡充	50箇所 150,000人	C	公立保育園5園、法人保育園9園で実施。 【14箇所・7,275人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — H26 計 0 0	今後新たに開設する新規保育所に事業実施を依頼し、事業の拡充に努めていく。	保育課			
5	地域子育て支援拠点事業	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 B — — H23 B — — H24 B 4,997 4,866 H25 90,246 H26 計 95,243 4,866	H26年度竣工予定の地域振興ふれあい拠点施設での子育て支援拠点の新規開設を視野に入れて、事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			

6	保育所による地域子育て支援事業	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。 育児サークル支援。 【38箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。 H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	育児相談及び園庭開放の充実を図る。	保育課
7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人 活動件数 7,688件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人	H22 B 12,142 11,295 H23 B 12,151 12,089 H24 B 12,111 11,807 H25 — 12,178 H26 — — 計 48,582 35,191	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る。	こども育成課 (H24年度まで：保育課)
8	ショートステイ事業	新規	1箇所	D	未実施	H23 未実施 H24 未実施	H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — 5,004 H26 — — 計 5,004 0	保護者の病気や入院、災害、事故などにより、児童の養育が困難になった場合など、児童養護施設などで一時的に児童を短期間預かるショートステイ事業を実施する。	こども育成課 (H24年度まで：子育て支援課)
9	パパ・ママ応援ショップ事業	新規	市内協賛店舗・施設数 350箇所	A	中学生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。チラシやHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。市内協賛店舗・施設数 751箇所	市内協賛店舗・施設数 H22 540箇所 H23 596箇所 H24 751箇所	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	対象となる世帯には優待カードを漏れなく配布し、市内の店舗・施設には協賛店として協力していただけるように事業の周知を図る。	こども育成課 (H24年度まで：子育て支援課)
10	総合支援窓口	新規		A	市民のニーズに応じて必要とするサービス提供主体への連絡等をおこなった。 また、子育て情報コーナー等の充実や、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。 登録件数1,031件。	H20年1月 総合支援窓口設置 H23年11月 埼玉県地域子育て応援タウン認定 メール配信登録件数 H22 800件 H23 978件 H24 1,031件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	情報誌や、ホームページ、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。また、来庁されたかたについては、必要とするサービスの案内等を行う。	こども政策課 (H24年度まで：子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5- (2) 保育サービスの充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	通常保育事業	拡充	3,840人	C	公立保育所20園、定員1,830人 法人保育所18園、定員1,311人 【3,141人】	H22 2,705人 H23 3,081人 H24 3,141人	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — — H26 — — 計 0 0	新規保育所の開設等により定員の 拡大を図る。	保育課			
2	延長保育事業	拡充	40箇所 2,040人	A	全20箇所の公立保育所において、1時間(高階保育 園では2時間)の延長保育を実施。民間保育所におい ては、全17箇所を実施。実施園については所要額を 助成。 【38箇所・1,464人】 ※人数は民間保育所を除いたもの。	H22 33箇所・1,312人 H23 37箇所・1,301人 H24 38箇所・1,464人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	平成25年度に開設する新規保育 園でも延長保育を実施依頼し、事業 の拡充を図る。	保育課			
3	統合保育事業	拡充		A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保 育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	統合保育の充実に努めていく。	保育課			
4	土曜保育事業	拡充		A	平成22年4月から、名細保育園、高階第三保育園、 南古谷第二保育園において事業を開始したことによ り、公立保育園10園で、土曜日の一日保育を実施し た。	H22、H23、H24 名細第二、中央、脇田新町、高階第 二、仙波町、神明町、霞ヶ関第二、 名細、高階第三、南古谷第二保 育園の10園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育ニーズの高まりにより、徐々に 実施園拡大してきたが、引き続き、 土曜保育に関するニーズの把握に 努める。	保育課			
5	産休明け保育事業	拡充		D	公立保育園で産休明け保育を試行的に実施するた め、実施園の候補を挙げた。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育サービスの質の低下を招かない 最良の運営方法等について、他 市の事例を調査・研究していく。	保育課			
6	公立保育所の運営方 法の検討	拡充		D	近年における保育情勢、他市の民営化に係る状況等 をもとに、調査研究をしている。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育サービスの質の低下を招かない 最良の運営方法等について、他 市の事例を調査・研究していく。	保育課			

7	法人立保育所への支援	拡充	A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	B	市内の家庭保育室22箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人	H22 B 208,009 207,471 H23 B 201,500 198,512 H24 B 227,082 227,082 H25 212,820 H26 — — 計 849,411 633,065	保育業務を家庭保育室に委託するにあたり、助成の充実を図る。 新たに家庭保育室を指定する。	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — — H26 — — 計 0 0	制度の仕組み等の検討、調査の実施	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	継続	D	事業なし		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	助成制度を設け推進を図る。	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	継続	A	(人数割 (1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×65人=19,500,000円 3歳以上 170,000×441人=74,970,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	補助対象園児数 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人	H22 A 105,000 100,750 H23 A 99,930 108,490 H24 A 117,940 115,950 H25 113,412 H26 — — 計 436,282 325,190	幼稚園預かり保育の推進に努める。	こども政策課 (H24年度まで:保育課)
12	保育士研修	拡充	A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 市主催の保育園職員研修年4回公立1,532人・私立317人 <テーマ別の研修状況> ・乳幼児保育研修 92回 参加者 2,223人 ・障害児保育研修 49回 参加者 331人 ・こどもの病気予防救急法の研修 22回 参加者 229人 ・食育に関する研修 84回 参加者 643人 ・心とからだの発達に関する研修 55回 参加者 474人 ・各年齢別研究会での学習会 47回 参加者 880人 その他研修会 108回 参加者 634人	H19 228回 3,141人 H20 256回 3,664人 H21 311回 3,065人 H22 462回 5,401人 H23 410回 5,154人 H24 457回 5,414人	H22 A 2,361 2,112 H23 A 2,361 1,738 H24 A 2,361 2,455 H25 2,361 H26 — — 計 9,444 6,305	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施予定。 法人立・家庭保育室及び認可外の保育施設へも研修会を広く周知し、保育の質の向上に努める。 市主催の研修会年4回 ・乳幼児保育研修 ・障害児保育研修 ・こどもの病気予防救急法の研修 ・食育に関する研修 ・心とからだの発達に関する研修 ・各年齢別研究会での学習会	保育課

13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充		C	平成22年度に引き続き公立園及び法人園で実施ができなかった。	H18 高階保育園 H19 中央保育園 H20 仙波町保育園 H21 名細保育園 H22 - H23 -	H22 C - - H23 C - - H24 C - - H25 - H26 - 計 0 0	公立園についてはH18から4年連続して実施しており、今後は法人園での実施が望まれる。	保育課
14	認定こども園	新規		D	施設設置に向けての相談業務を実施。助成制度について研究を行っている。		H22 D - - H23 D - - H24 D - - H25 - H26 - 計 0 0	施設設置に向け、相談業務を実施する。	保育課
15	家庭的保育事業(保育ママ)	新規	30人	C	他市の状況を調査研究する。		H22 C - - H23 C - - H24 C - - H25 - H26 - 計 0 0	家庭保育室制度との共存を図りつつ、推進できるか調査・研究を行う。	保育課
16	トワイライトステイ事業	新規	5人・1箇所	A	保護者が仕事等の理由により、平日の夜間に家庭において養育することが困難な児童を実施施設において保護し、食事の提供等を行った。	H23 登録者数 8世帯10人 利用者数 延べ55人 ※H23年度は8月から実施 H24 登録者数 15世帯22人 利用者数 延べ203人	H22 D - - H23 A 3,199 1,019 H24 A 3,024 2,331 H25 2,741 H26 - 計 8,964 3,350	広報、ホームページなどを活用することで、保護者の帰宅が遅くなるなどの理由で当該事業のサービスを必要とする世帯への周知を図っていく。	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
17	休日保育事業	新規	180人・3箇所	D	近隣市の実施状況・保育料等について調査するとともに、実施について検討している。		H22 D - - H23 D - - H24 D - - H25 - H26 - 計 0 0	数年内の実施に向け、検討・調整を図っていく。	保育課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(3) 子どもの健全育成の取組

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	子どもに関する条例又は宣言等	継続		C	関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。	H23 検討会議1回 H24 検討会議1回	H22	C	—	—	子ども・子育て新システムの本格施行に向けての準備を基本としながら、他の自治体の状況を踏まえ、関係課で子ども条例における方向性について、今後も協議していく。	こども政策課 こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
							H23	C	—	—		
							H24	C	—	—		
							H25	C	—	—		
						H26	C	—	—			
						計		0	0			
				C	関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。		H22	C	—	—	関係課で今後の方向性について協議していく。	人権推進課
						H23	C	—	—			
						H24	C	—	—			
						H25	C	—	—			
							H26	C	—	—		
							計		0	0		
				C	具体的な取り組みの骨子が未定である。		H22	C	—	—	関係課として、今後の方向性について、協議していく。	こども育成課 (H24年度まで: 青少年課)
						H23	C	—	—			
						H24	C	—	—			
						H25	C	—	—			
							H26	C	—	—		
							計		0	0		
				C	具体的な取り組みの骨子が未定である。		H22	C	—	—	他の自治体の研究を行い、関係課で子ども条例における今後の方向性について、協議していく。	教育指導課
						H23	C	—	—			
						H24	C	—	—			
						H25	C	—	—			
							H26	C	—	—		
							計		0	0		
2	人権保育	継続		A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに、保育所において人権保育を推進している。	公立保育園20園で実施。	H22	A	450	491	人権保育の推進を図っていく。	保育課
							H23	A	720	608		
							H24	A	450	535		
							H25	A	720			
							H26	A				
							計		2,340	1,634		

3	子ども手当	新規		A	法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 1,028,794,000円 延児童数 91,418人	H22:総支給額 5,581,439,000円 延児童数 429,343人 H23:総支給額 6,436,314,000円 延児童数 518,254人 H24:総支給額 1,028,794,000円 延児童数 91,418人	H22 A 5,595,364 5,581,439 H23 A 6,436,574 6,436,314 H24 A 1,028,794 1,028,794 H25 0 H26 計 13,060,732 13,046,547	平成23年度で制度は終了し、平成24年度からは児童手当に移行した。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
	(児童手当)	新規		A	法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 4,718,355,000円 延児童数 429,824人	H24:総支給額 4,718,355,000円 延児童数 429,824人	H22 - - - H23 - - - H24 A 4,723,480 4,718,355 H25 5,650,525 H26 計 10,374,005 4,718,355	継続	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
4	幼稚園就園奨励費	拡充		A	国庫補助対象者の他、国庫補助対象外の方についても継続して市単独での補助を実施している。	H22 決算額481,084千円 支給対象園児数6,140人 H23 決算額501,208千円 支給対象園児数6,175人 H24 決算額518,074千円 支給対象園児数6,372人	H22 A 485,995 481,084 H23 A 506,346 501,208 H24 A 526,949 518,074 H25 585,188 H26 計 2,104,478 1,500,366	国庫補助対象者については、国庫補助増額とともに、単価を増額。国庫補助対象外の方についても、継続して市単独での補助を実施。	こども政策課 (H24年度まで:教育財務課)
5	スポーツ少年団 (2-(3)-6の再掲)	継続		A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,060名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
6	学校体育施設開放事業 (2-(3)-7の再掲)	継続		A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6~9月)、牛子小・高階西小・福原小の学校プール開放(7月)を行った。	H22 学校体育施設開放参加者数369,728名。霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数112名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数189名。 H24 学校体育施設開放参加者数407,529名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
7	地域組織活動への研修	継続		A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	H23 保健推進員ブロック会議3回85人 H24 保健推進員ブロック会議3回90人	H22 C - - H23 A - - H24 A - - H25 - - H26 計 0 0	保健推進員に対して、市の母子保健事業の情報提供を実施していく。	健康づくり支援課

8	児童館	継続		B	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設として児童館機能の導入について検討した。また、既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得た、子どもの居場所づくりを推進してきた。	直近では、平成20年5月に高階市民センター内に高階児童館がオープンした。	H22 D — — H23 D — — H24 B — — H25 — — H26 — — 計 0 0	既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得た、子どもの居場所づくりを推進していく。	こども育成課 (H24年度まで: 青少年課)
9	児童遊園	継続		A	市内161箇所の児童遊園について、平成23年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕を行う。 ・遊具の修繕等 延べ82箇所	遊具の修繕等 H22 延べ81箇所 H23 延べ64箇所 H24 延べ82箇所	H22 A 38,122 23,497 H23 A 9,902 22,281 H24 A 22,444 21,737 H25 — 21,198 H26 — — 計 91,666 67,515	遊具の安全性確保に更に努める。	こども育成課 (H24年度まで: 青少年課)
10	児童館機能の整備 (児童センター子どもの城)	拡充		A	開館日数 308日 利用者数 72,693人 【内訳】個人利用 44,670人、団体利用 501人、 集団指導22,700人、プラネタリウム 4,608人、天 体観測 214人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象237 回10,952人、学童対象154回2,232人、児童対 象416回9,516人	H22 開館日数 308日 利用者数 52,418人 H23 開館日数 240日 利用者数 52,997人 H24 開館日数 308日 利用者数 72,693人	H22 A 48,075 39,242 H23 A 44,368 40,112 H24 A 42,445 42,138 H25 — 43,449 H26 — — 計 178,337 121,492	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	こども育成課 (H24年度まで: 青少年課)
	児童館機能の整備 (川越駅東口児童館)				開館日数 308日 利用者数 53,726人 【内訳】個人利用41,545人、団体利用0人、集団指 導12,181人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象179 回10,993人、学童対象98回672人、児童対象13 回516人	H22 開館日数 307日 利用者数 46,571人 H23 開館日数 309日 利用者数 50,923人 H24 開館日数 308日 利用者数 53,726人	H22 A 15,936 9,743 H23 A 17,336 13,231 H24 A 14,812 14,084 H25 — 19,434 H26 — — 計 67,518 37,058		
	児童館機能の整備 (高階児童館)				開館日数 308日 利用者数 49,117人 【内訳】個人利用38,547人、団体利用 0人、集団 指導 10,570人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象159 回9,393人、学童対象14回 91人、児童対象149 回1,086人	H22 開館日数 308日 利用者数 54,761人 H23 開館日数 310日 利用者数 54,235人 H24 開館日数 308日 利用者数 49,117人	H22 A 15,938 13,874 H23 A 19,428 18,276 H24 A 19,058 18,109 H25 — 1,271 H26 — — 計 55,695 50,259		

11	青少年市民会議	継続		A	<p>青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・モデル地区補助事業 7地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名 	<p>H22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 1名 ・青少年健全育成市民大会参加者 448名 <p>H23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 391名 <p>H24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 7地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>3,016</td><td>2,982</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>3,041</td><td>3,041</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>3,041</td><td>3,036</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>4,004</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>13,102</td><td>9,059</td></tr> </table>	H22	A	3,016	2,982	H23	A	3,041	3,041	H24	A	3,041	3,036	H25		4,004		H26				計		13,102	9,059	引き続き、市民会議会員である62機関・団体の連携の下、市民総ぐるみの青少年健全育成の推進を図っていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	A	3,016	2,982																														
H23	A	3,041	3,041																														
H24	A	3,041	3,036																														
H25		4,004																															
H26																																	
計		13,102	9,059																														
12	青少年団体	継続		A	<p>青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図る。</p> <p>【補助金交付対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 75,000円 ・ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 ・ガールスカウト川越地区協議会 ・川越市吹奏楽団 90,000円 ・川越市少年の船・翼修了者の会 47,000円 ・川越少年少女合唱団 100,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 100,000円 ・ボーイスカウト西部初雁地区協議会 75,000円 ・ガールスカウト川越地区協議会 58,134円 ・川越市吹奏楽団 90,000円 ・川越市少年の船・翼修了者の会 47,000円 ・川越少年少女合唱団 100,000円 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>407</td><td>269</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>384</td><td>382</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>480</td><td>470</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>470</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,741</td><td>1,121</td></tr> </table>	H22	A	407	269	H23	A	384	382	H24	A	480	470	H25		470		H26				計		1,741	1,121	引き続き、青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図っていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	A	407	269																														
H23	A	384	382																														
H24	A	480	470																														
H25		470																															
H26																																	
計		1,741	1,121																														
13	「子ども110番の家」	継続		A	<p>青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、12地区会議から請求があり交付した。) 		<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>350</td><td>350</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>325</td><td>324</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>325</td><td>324</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,000</td><td>998</td></tr> </table>	H22	A	350	350	H23	A	325	324	H24	A	325	324	H25		0		H26				計		1,000	998	子ども110番の家は、地区会議だけでなくPTAや学校が実施主体のところもあるので、3者で子ども110番の家協力者名簿の交換を行い、情報の共有化を図る。また、子ども110番の家の看板を全市で統一するため、青少年を育てる市民会議が子ども110番の家の看板を作製、配布し、子どもたちにとって安全で安心な環境づくりを図っていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	A	350	350																														
H23	A	325	324																														
H24	A	325	324																														
H25		0																															
H26																																	
計		1,000	998																														
14	青少年の体験活動事業	継続		A	<p>次代を担う青少年の健全育成を図るため、第11回川越市少年の翼事業を実施した。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修 3回 ・本研修 4泊5日、北海道河西郡中札内村他 ・研修生 市内中学生44名 	<p>H22 研修生44名</p> <p>H23 研修生44名</p> <p>H24 研修生44名</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>3,510</td><td>2,706</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>3,310</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>3,200</td><td>2,855</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>3,200</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>13,220</td><td>8,566</td></tr> </table>	H22	A	3,510	2,706	H23	A	3,310	3,005	H24	A	3,200	2,855	H25		3,200		H26				計		13,220	8,566	次代を担う青少年の健全育成を図るため、引き続き、第12回川越市少年の翼事業を実施する。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	A	3,510	2,706																														
H23	A	3,310	3,005																														
H24	A	3,200	2,855																														
H25		3,200																															
H26																																	
計		13,220	8,566																														

15	非行防止活動	継続		A	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めた。 ・街頭補導回数 680回 ・延べ補導員数 3,054人 ・声かけ数 3,117回 ・相談件数 延べ43件(メール相談含む)	H21 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,057人 ・声かけ数 3,437回 ・相談件数 延べ39件(メール相談含む) H22 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,022人 ・声かけ数 3,005回 ・相談件数 延べ101件(メール相談含む) H23 ・街頭補導回数 681回 ・延べ補導員数 3,122人 ・声かけ数 3,480回 ・相談件数 延べ71件(メール相談含む) H24 ・街頭補導回数 680回 ・延べ補導員数 3,054人 ・声かけ数 3,117回 ・相談件数 延べ43件(メール相談含む)	H22 A 8,916 7,940 H23 A 8,972 8,462 H24 A 9,058 8,262 H25 9,729 H26 計 36,675 24,664	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、引き続き、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めている。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
16	適応指導教室 (2-(2)-6の再掲)	継続		A	教育センター分室(リベラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学習支援や体験活動、人間関係づくりなどを通して、児童生徒一人一人のよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための支援を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)	
17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充		A	事業に携わった人数33,696人 各地区の事業合計数352 サポート委員の合計数607人 学校応援団活動の合計数225 市内14地区に分かれ、各地区での事業が活発に行われた。	事業に携わった人数 H22 15,409人(前年比138.8%) H23 22,196人(前年比144.0%) H24 33,696人(前年比151.8%) 各地区の事業合計数 H22 203(前年比114.0%) H23 269(前年比132.5%) H24 352(前年比130.9%) サポート委員の合計数 H22 569人(前年比103.1%) H23 572人(前年比100.5%) H24 607人(前年比106.1%) 学校応援団活動の合計数 H22 138(前年比129.0%) H23 144(前年比104.3%) H24 225(前年比156.3%)	H22 A 5,349 4,727 H23 A 5,000 4,225 H24 A 4,457 4,193 H25 4,025 H26 計 18,831 13,145	それぞれの地域の特色を生かした事業が活発に展開されている。一部のスタッフに負担が偏らないよう、情報交換・合同事業・人材発掘等を行っていく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)

18	ブックスタート事業	継続		A	4か月児健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 48回実施し、2,718組が参加した。	H22 44回実施 2,601組 H23 48回実施 2,977組 H24 48回実施 2,718組	H22 A 566 362 H23 A 1,570 1,712 H24 A 1,448 1,517 H25 1,574 H26 計 5,158 3,591	引き続き、親子が絵本を通じてふれあいの時間を持つことができるよう、事業を進めていく。	中央図書館
19	いないいないばあのおはなし会	継続		A	0歳から1歳の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 4館合わせて94回実施し、1,822人が参加した。	H22 96回実施 1,805人参加 H23 96回実施 1,884人参加 H24 94回実施 1,822人参加	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — H26 計 0 0	引き続き、小さい時から本に親しむ環境を提供できるよう、事業を進めていく。	中央図書館
20	民生委員・児童委員研修会	継続	年4回実施	A	民生委員・児童委員研修 ・中堅民生委員・児童委員研修 75人 ・現任主任児童委員研修 19人 ・新任主任児童委員研修 1人 ・新任民生委員児童委員研修 7人 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。	・中堅民生委員・児童委員研修 H22:85人 H23:67人 ・現任主任児童委員研修 H22:20人 H23:20人 ・新任主任児童委員研修 H22:25人 H23:3人 ・新任民生委員児童委員研修 H22:355人 H23:13人	H22 A 170 114 H23 A 120 65 H24 A 120 66 H25 200 H26 計 610 245	民生委員・児童委員研修 ・民生委員・児童委員課題別研修 ・現任主任児童委員研修 ・新任民生委員児童委員研修×2回 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	福祉推進課
21	スチューデントサポーター派遣事業	継続		A	大学で心理を学ぶ学生による不登校児童生徒への支援として、学校訪問や家庭訪問、教育センター分室(リベラ)における会話や学習支援により、児童生徒の悩みや不安の解消を図り、不登校の予防、解消に向けた支援を行った。		H22 A 488 220 H23 A 488 347 H24 A 458 334 H25 450 H26 計 1,884 901	スチューデント・サポーターの活動時間や支援の方法について、さらに調整を図り、支援の回数を含めて活動の充実を図っていく。	教育センター (旧 教育研究所)
22	スクールボランティア(生徒指導推進委員)の配置	新規	150日 54名	A	学校における生徒指導上の諸課題に対応するために、小中学校にスクールボランティアを配置し、生徒指導体制の充実と児童生徒一人一人への適切な指導に努めた。のべ65名のスクールボランティアを一人当たり年間約150日配置し、諸課題の解決に取り組んだ。	H22 I期 18名 22校配置 II期 18名 26校配置 III期 18名 32校配置 H23 I期 21名 35校配置 II期 20名 34校配置 III期 21名 37校配置 H24 I期 21名 31校配置 II期 22名 33校配置 III期 22名 35校配置	H22 A 13,148 12,819 H23 A 13,148 12,607 H24 A 13,147 12,750 H25 12,296 H26 計 51,739 38,176	小中連携による指導主事訪問等を通して学校の現状把握に努め、効果的なスクールボランティアの配置に努めたい。また、スクールボランティアの資質向上と効果的な活用を図っていく。	教育指導課

5-4 体験活動・交流の促進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課	
							年度	進捗状況	予算額	決算額			
1	川越PTA連合会活動	継続		A	市内各小中学校PTAの常置委員会向けにPTA運営講座を開設。PTA活動の推進に努めた。	PTA運営講座(6回) ※うち1回は家庭教育学級運営講座として実施。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 85 計	90 90 90 85 355	82 84 83 計	249	PTAの主体性を維持するため、積極的な情報提供・適切な講座等の運営に努める。また、前年度のPTA役員経験者などを招き活動発表を交えながら、効果的な学習となるよう取り組んでいく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
2	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課、青少年課)	
					中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲	社会体験学習及び交流活動を行うことで、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課		
					子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	チラシの配付	H22 H23 H24 H25 H26 計	B A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課		
					事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 H23 H24 H25 H26 計	B B A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館		
					子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 H23 H24 H25 H26 計	B A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲	子ども育成課が主体となって行う「子育て体験学習事業」について、実施学校の調整を行う。	教育指導課		

3	川越市子ども会育成団体連絡協議会活動	継続		A	広報誌の発行を通して、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。また、市かるた大会や棚倉町交流事業を実施し、子ども会活動の活発化が図られ、青少年健全育成の一助がなされた。	広報誌「ひろば」発行 H22 4回 H24 4回 H23 4回 川越市かるた大会 H22 1回 H24 1回 H23 1回 棚倉町・川越市交流事業 H22 訪問・受入 各1回 H23 訪問・受入 各1回 H24 訪問・受入 各1回	H22 A 333 333 H23 A 333 333 H24 A 333 333 H25 333 H26 計 1,332 999	川越市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ、相互の連絡調整を積極的に図るとともに、子ども会育成会活動の向上と発展に資するため、既存事業の更なる充実に目指していく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
4	地域人材活用事業	継続	各校8回	B	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できるようになった。 実施予定数…220回(55校×4回) 実施数…205回 実施率…93.2%	実施率 17年度…92% 18年度…100% 19年度…99% 20年度…99% 21年度…130% 22年度…136% 23年度…231% 24年度…93.2%	H22 A 990 1,800 H23 A 825 1,905 H24 B 660 615 H25 660 H26 計 3,135 4,320	道徳、学級活動、総合的な学習の時間、中学校部活動等において多様な学習機会を提供するため、地域の人材を積極的に活用し、特色ある学校づくりを推進していく。 「特色ある学校づくり支援」の報償費の中で「日本語指導ボランティア」に対する報償金が増えている状況で、昨年度までのように「地域人材活用事業」に予算を回すことは難しい。	学校管理課
5	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充	実施率100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所 のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所 のべ798事業所	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今年度は昨年度以上に事業所の確保を行い、生徒の主體的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行すべき点に気づける取り組みにする。	教育指導課
6	生きがい活動支援通所事業	継続	各クラス年1回ずつの交流会	A	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。利用者は小学生の劇や発表(歌・手品・体操など)を喜び、小学生も昔遊び・かるた・トランプを利用者と一緒に楽しんだ。交流の中で、高齢者の戦争等の体験談に小学生が耳を傾ける様子も見られた。	H22・交流会 各クラス1回 ・卒業式後、利用者による卒業生の見送り H23・交流会 各クラス1回 ・利用者による卒業式後の卒業生見送りも例年実施しているが、雨のため急遽中止となった。 H24・交流会 各クラス1回 ・例年通り	H22 A 8,328 8,328 H23 A 8,184 8,184 H24 A 8,140 8,140 H25 8,489 H26 計 33,141 24,652	引き続き、利用者小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者とふれあう機会が少なくなっている子どもたちに交流の場を提供していく。	高齢者いきがい課
7	体験学習(小学生対象)	継続	12講座	A	「生きる力」をはぐむ野外教育プログラムなどの事業を開催した。 12公民館、30講座 参加者延人数:3,144人	H22 13公民館、19講座 参加者延人数 3,475人 H23 15公民館、16講座 参加者延人数 3,541人 H24 12公民館、30講座 参加者延人数 3,144人	H22 A 1,075 842 H23 A 1,058 856 H24 A 1,254 1,189 H25 1,269 H26 計 4,656 2,887	「生きる力」をはぐむ野外教育プログラムなどの事業を開催する。	中央公民館

8	土曜子ども体験 (2-(2)-14の再掲)	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。24年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今後も、プログラムを見直し、よりニーズに合った内容を考えて実施していきたい。また、土曜日だけでなく日曜日の開催も行っていく。	博物館
9	子ども博物館教室 (2-(2)-15の再掲)	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候もよく3回すべて実施することができた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	1日かけてじっくり取り組めるプログラムとし、今後も川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で、毎年数種類更新して実施していく。	博物館
10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯籠作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今後も、夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容を実施していく。	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリー作り等の体験を行った。2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今後も、昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施していく。	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	年間派遣件数 1件	A	ドイツ・オッフェンバッハ市に中学生交流団を派遣した。 期間 8月21日～8月28日 参加者 市内中学3年生22名、引率3名	年間派遣件数 平成22年度 1件 平成23年度 1件 平成24年度 1件	H22 A 3,100 2,903 H23 A 3,000 2,794 H24 A 3,000 3,299 H25 3,000 H26 計 12,100 8,996	引き続き、海外姉妹都市へ市内中学校代表22名を派遣する。 平成25年度派遣先 アメリカ・セーレム市	国際文化交流課 (H24年度まで: 文化振興課) (計画策定時: 国際交流課)

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	H26年度竣工予定の地域振興ふれあい拠点施設での子育て支援拠点の新規開設を視野に入れて、事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
2	保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。 育児サークル支援。 【38箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。 H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	育児相談及び園庭開放の充実を図る。	保育課			
3	子育てサークルへの出前講座	拡充		A	公民館、自治会館等で自主的に活動する子育てサークルからの育児相談、子育て講座等の依頼により、保育士が出向き協力する。 サークル支援 33回	サークル支援 55回 1,156人 H24 サークル支援 33回 679人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	年々、子育てサークルが減少している中、活動しているサークルに出張支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児力の向上を図る。 法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	講座開催回数 H22:7回406人 H23:2回 48人 H24:5回 201人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	健康づくり支援課			

4	子育てサークルへの施設提供	継続		随時	A	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共的利用に供した。 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：48,010件 年間利用者：778,731人	H22 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：47,014件 年間利用者：779,974人 H23 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：47,586件 年間利用者：887,594人 H24 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：48,010件 年間利用者：778,731人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共的利用に供する。	中央公民館
5	子育てサロン事業	継続		19サロン	A	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市の展開をすすめた。 開催公民館：17公民館 サロン開催数：21サロン サロン延開催数：312回 参加者延人数：12,408人	開催公民館 H22 17公民館 H23 17公民館 H24 17公民館 サロン開催数 H22 20サロン H23 21サロン H24 21サロン サロン延開催数 H22 297回 H23 312回 H24 312回 参加者延人数 H22 13,327人 H23 13,600人 H24 12,408人	H22 A 2,447 2,331 H23 A 2,385 2,385 H24 A 2,445 2,357 H25 2,460 — H26 — — 計 9,737 7,073	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市の展開をすすめる。	中央公民館
6	子育てサポーター養成講座	継続		1講座	A	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催した。 3館、3講座、開催数18回 参加者延人数：186人	H22 2館、2講座、開催数10回 参加者延人数：162人 H23 2館、2講座、開催数11回 参加者延人数：169人 H24 3館、3講座、開催数18回 参加者延人数：186人	H22 A 50 145 H23 A 77 153 H24 A 53 145 H25 136 — H26 — — 計 316 443	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催する。	中央公民館
7	子育てネットワーク事業	拡充			A	要保護児童対策地域協議会の実務者会議を子育て支援ネットワークとして位置付け、子育て支援に関して連携を図った。 実務者会議 6回	H22 実務者会議 9回 H23 実務者会議 9回 H24 実務者会議 6回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、前年度と同数程度の会議を開催し、子育て支援体制の連携を図る。	こども安全課 (H24年度まで：子育て支援課)

8	子育て支援プロジェクトチームの設置	新規	年間12回	B	子育て支援事業の効果的な推進を図るため、子育て体験学習事業や子育て情報誌、子育て支援情報の周知方法等について協議した。	H22:開催数 1回 H23:開催数 3回 H24:開催数 1回	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 — — H26 — — 計 0 0	担当課や会議の役割、開催数などを見直し、子育て支援に係る施策のほか、子ども・子育て新システムに係る事項について協議していく。	こども政策課 こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
				A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。 プロジェクトチームで検討したメール配信については、児童館情報を定期的に配信した。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)
				A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。		H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	保育課
				A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	健康づくり支援課
				A	関係機関と連携を図り、市として子育て事業の方向性を検討した。	H22:開催数 1回 H23:開催数 3回 H24:開催数 1回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	中央公民館
				A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援に係る施策等で検討が必要な事項については、随時、当プロジェクトチームを開催して協議していく。	教育指導課

5-（6）子育て情報提供の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	育児情報発信活動	拡充		A	子育て情報コーナーや、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。登録件数1,031件。配信数124件。	H22 メール配信登録件数 800件 メール配信数 37件 情報誌 3,000冊配布	H22 A — — H23 A — — H24 A — —	情報誌については増刷して、より多くの方にご覧いただけるようにするとともに電子ブック化してパソコン、スマートフォンからも閲覧しやすい環境を作る。 HP、モバイルサイト、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。 また、子育てに関する行政サービス等をより「わかりやすく」「探しやすい」情報とするために子育て応援WEBサイトを官民協働事業により作成する。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)		
					各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行して、母子手帳交付時、中学生以下のいる世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布し、情報提供の推進を図った。	H23 メール配信登録件数 978件 メール配信数 114件 情報誌 5,100冊配布	H25 — — H26 — —				
					H24 メール配信登録件数 1,031件 メール配信数 124件 情報誌 6,500冊配布	計 0 0					
1	育児情報発信活動	拡充	A	A	毎月、子育て情報紙「子育てわくわく」を1,300部発行し、公民館等へ配布した。講座情報も広報への掲載、チラシ配布を行うことで、定期的な情報提供に努めた。	H22 川越子育て情報誌 2,800部作成。	H22 A 300 300 H23 A 1 — H24 A — — H25 — — H26 — —	子育て情報紙、講座情報等の提供	こども育成課 (H24年度まで:保育課)		
				子育て情報紙、施設一覧のホームページ掲載に加え、携帯への配信サービス、モバイルサイト掲載も実施し、より幅広い情報提供を行った。	H23 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。	計 301 300					
				H24 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。							
1	育児情報発信活動	拡充	A	A	広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行うとともに、子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、情報を発信した。		H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — —	引き続き、広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行っていく。	健康づくり支援課		
						計 0 0					
2	育児サークル支援	拡充	A	A	子育て情報誌にサークル紹介を掲載。サークル交流会を開催し、サークル間の交流を支援した。また、サークル状況調査を実施し、育児サークルの状況把握と支援センターの支援内容の情報提供に努めた。内容～手遊び、親子遊び、製作、ミニ勉強会等 育児サークル支援 33回、サークル交流会 1回	H22 育児サークル支援 52回、1,278人 サークル交流会 1回、12サークル	H22 A — — H23 A — — H24 A — —	年々、育児サークルが減少している中、活動しているサークルに出張支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児力の向上を図る。法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)		
				H23 育児サークル支援 55回、1,156人 サークル交流会 1回、8サークル	H25 — — H26 — —						
2	育児サークル支援	拡充	A	A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	H22 講座開催回数 H22:7回 406人 H23:2回 48人 H24:5回 201人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — —	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	健康づくり支援課		
						計 0 0					

3	市民との協働による子育て情報誌	新規	年間発行部数 6,000部	A	中央公民館の講座において育児に関してまとめた情報をベースにした子育て情報誌「こえどちゃん」の原版に有料広告を掲載し、新たな収入を確保することで充実した情報誌を効率よく作成した。 また、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に情報誌を配布するとともに、電子ブック化して閲覧しやすい環境整備に努めた。	情報誌「こえどちゃん」 H22 H22配布 3,000冊 H23 H23配布用作成 3,000冊 H24 H24配布用追加作成 2,100冊 H25 H25配布 5,100冊 H26 H24配布用作成 6,500冊 H27 H24配布 6,500冊 H28 H25配布用作成 7,000冊	H22 A 226 95 H23 A 404 403 H24 A 625 625 H25 1,137 H26 計 2,392 1,123	市民活動団体との協働事業として子育て中の方の意見等を取り入れて内容作成し、有料広告を掲載して充実した情報誌を効率よく作成する。 また、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に情報誌を配布するとともに、電子ブック化して閲覧しやすい環境整備に努める。	こども政策課 (H24年度まで：子育て支援課)
				A	子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、事業の情報提供を図った。また、乳幼児健診や訪問の際に情報誌を活用し情報提供を行った。 平成23年度より「こえどちゃん」を母子健康手帳と併せて配布するようになったため、新生児訪問・こんには赤ちゃん訪問時での配付を終了とした。		H22 A 95 95 H23 A 95 — H24 A — — H25 — — H26 計 190 95	乳幼児健診や訪問の際に情報誌の活用し情報提供を行う。	健康づくり支援課
				A	子育てガイドマップの作成を通して、親たちに仲間作りの場を提供し、育児に関する地域の情報をまとめ、市民に提供する子育てガイドマップ作成講座を開催した。 1公民館、1講座 参加者延人数 113人 年間発行部数6,500部	H22 1公民館、1講座 参加者延人数 256人 年間発行部数 6,000部 H23 1公民館、1講座 参加者延人数 280人 年間発行部数 5,100部 H24 1公民館、1講座 参加者延人数 113人 年間発行部数 6,500部	H22 A 125 139 H23 A 125 203 H24 A 117 98 H25 — H26 計 367 440	育児に関する地域の情報をまとめる、子育てガイドマップ作成講座を開催する。 なお、平成25年度からは、こども政策課の事業となる。	中央公民館

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-1) 児童虐待防止対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	養育支援訪問事業	拡充		A	「こんには赤ちゃん事業」や関係機関等からの情報収集等により把握した養育支援が必要であると認められた家庭に対し、育児・家事の援助又は育児支援に関する技術的援助を専門の相談員等が訪問により実施する。	H22 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 10件 延べ訪問件数 23件 H23 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 12件 延べ訪問件数 17件 H24 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 8件 延べ訪問件数 14件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	前年度と同数の会議を実施する。出生後早期の相談支援を行うとともに、ニーズの把握に努める。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
2	家庭児童相談	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。相談件数 4,320件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 4,961 4,948 H23 A 7,307 7,330 H24 A 9,687 9,459 H25 9,888 H26 — — 計 31,843 21,737	引き続き、子どもの発達に関すること、学校生活、家族関係などの相談に応じていく。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会	拡充		A	要保護児童の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 A 570 449 H23 A 670 403 H24 A 631 363 H25 610 H26 — — 計 2,481 1,215	引き続き、前年度と同数程度の会議を開催するとともに、効率的かつ効果的な会議を目指す。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
4	ふれあい親子支援事業	継続		A	コアラの会(育児不安が強く、支援が必要な保護者のグループミーティング)を開催し、育児不安の解消に努めた。	コアラの会 H22: 12回 延53組 H23: 12回 延55組 H24: 11回 延54組	H22 A 288 288 H23 A 288 286 H24 A 290 253 H25 A 290 H26 — — 計 1,156 827	コアラの会を開催し、育児不安の解消に努める。	健康づくり支援課			
5	保健師による訪問指導	拡充		A	児童虐待予防のため、訪問による支援が必要な母子に対し、保健婦等による訪問指導を実施した。また、要支援者への関わりの学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施した。	延訪問件数 H22:延435件 H23:延586件 H24:延590件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 A 60 60 H25 60 H26 — — 計 240 180	児童虐待予防のため、訪問による支援が必要な母子に対し、保健婦等による訪問指導を実施する。また、事例検討会を実施し要支援者への関わりの学び支援に生かしていく。	健康づくり支援課			
6	こんには赤ちゃん事業	新規	訪問率(産婦・新生児訪問指導を含む) 100%	A	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援と情報提供を行った。	H22:2,395件訪問 82.6% H23:2,429件訪問 84.7% H24:2,367件訪問 80.5%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 10,821 H26 — — 計 43,574 29,781	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援と情報提供を行う。	健康づくり支援課			

7	周産期からの虐待予防強化事業	新規	A	高度専門医療機関と連携し、周産期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、訪問等を行い支援し、早期に育児不安の解消を図った。	情報提供件数 H22: 67件 H23: 72件 H24: 117件	H22	A	—	—	高度専門医療機関と連携し、周産期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、訪問等を行い支援し、早期に育児不安の解消を図る。	健康づくり支援課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計		0	0		

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

(単位: 千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	ひとり親家庭相談	拡充		A	母子自立支援員がひとり親家庭の親などの様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 母子家庭相談 8,220件 父子家庭相談 119件	H22 母子家庭相談 6,075件 父子家庭相談 53件 H23 母子家庭相談 7,067件 父子家庭相談 121件 H24 母子家庭相談 8,220件 父子家庭相談 119件	H22 A 6,894 6,894 H23 A 6,872 6,852 H24 A 6,873 6,849 H25 6,822 H26 計 27,461 20,595	引き続き、ひとり親家庭の様々な相談に応じる体制を整え、当該家庭の自立と福祉の推進を図る。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)		
2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充		A	母子家庭の母が出産に伴い、一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣した。 派遣世帯 4世帯(延べ38時間)	H22 派遣世帯 1世帯(延べ7時間) H23 派遣世帯 7世帯(延べ73時間) H24 派遣世帯 4世帯(延べ38時間)	H22 A 125 11 H23 A 92 112 H24 A 92 59 H25 92 H26 計 401 182	引き続き、支援が必要な家庭に支援員を派遣し、当該家庭の自立と福祉の増進を図るとともに、二卒の把握と制度の周知を図る。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)		
3	母子寡婦福祉資金	継続		A	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の推進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 母子 170件 85,064,000円 寡婦 2件 1,188,000円 また、貸し付けた資金の償還も行った。	H22 母子 162件 82,961,500円 寡婦 1件 636,000円 H23 母子 165件 83,251,000円 寡婦 2件 1,368,000円 H24 母子 170件 85,064,000円 寡婦 2件 1,188,000円	H22 A 89,000 83,873 H23 A 84,000 84,820 H24 A 100,400 86,437 H25 92,100 H26 計 365,500 255,130	引き続き、母子家庭の母及び寡婦の自立とその児童の福祉を増進するため、必要な資金を貸し付けるとともに、資金の償還も行っていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)		
4	児童扶養手当	継続		A	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 1,096,816,300円 受給資格者 2,869人(H24年度末現在)	H22: 総支給額 1,013,786,506円 受給資格者 2,683人(年度末) H23: 総支給額 1,072,923,661円 受給資格者 2,823人(年度末) H24: 総支給額 1,096,816,300円 受給資格者 2,869人(年度末)	H22 A 1,013,787 1,013,787 H23 A 1,084,969 1,072,924 H24 A 1,124,478 1,096,816 H25 1,140,000 H26 計 4,363,234 3,183,527	引き続き、適切に児童扶養手当の支給、管理を行っていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)		
5	川越市遺児手当	継続		A	遺児の健全な育成を図るため、当該遺児の保護者に遺児手当を支給した。 総支給額 1,904,000円 受給資格者 15人(H24年度末現在)	H22: 総支給額 2,516,000円 受給資格者 17人(年度末) H23: 総支給額 2,269,500円 受給資格者 18人(年度末) H24: 総支給額 1,904,000円 受給資格者 15人(年度末)	H22 A 2,856 2,516 H23 A 2,856 2,270 H24 A 2,652 1,904 H25 2,346 H26 計 10,710 6,690	引き続き、適切に遺児手当の支給、管理を行っていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)		

6	母子生活支援施設	継続		A	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ、保護、指導を行うとともに自立を支援した。 また、退所した母子の生活状況の把握と生活安定のための支援に努めた。 19世帯(人数 74人)	入所世帯数 H22 70世帯(人数225人) H23 32世帯(人数129人) H24 19世帯(人数74人)	H22 A 7,288 4,947 H23 A 4,045 3,833 H24 A 4,166 3,378 H25 4,618 H26 計 20,117 12,158	引き続き入所の母子の保護、指導を行うとともに、退所した母子への支援を行っていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
7	ひとり親家庭等医療費	継続		A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 25,513件 支給額 66,707,066円	支給件数 H17 15,828件 H18 19,162件 H19 21,649件 H20 23,567件 H21 25,242件 H22 25,077件 H23 24,518件 H24 25,513件	H22 A 68,151 65,537 H23 A 70,131 63,890 H24 A 69,595 67,590 H25 74,143 H26 計 282,020 197,017	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給する。	こども政策課 (H24年度まで: 医療助成課)
8	母子家庭等就業・自立支援センター事業	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 15人 パソコン講座 20人 就労相談 287人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 20人 287人	H22 A 196 165 H23 A 213 123 H24 A 140 83 H25 140 H26 計 689 371	引き続き、託児付き講座等の開催、就労相談の実施により、就労面から母子家庭の自立を支援していく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
9	ひとり親家庭生活支援事業	新規	延べ利用者数 80人/年	A	母子家庭の母などの情報交換の場であるシングルマザー交流会を開催した。 全4回 延べ47人(母子)	H22 4回 延べ65人 H23 3回 延べ33人 H24 4回 延べ47人	H22 A 223 168 H23 A 231 118 H24 A 167 148 H25 180 H26 計 801 434	引き続き、母子家庭の母などを対象に情報交換及び悩み相談の場を定期的に提供し、当該家庭の福祉の増進を図っていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
10	母子家庭等自立支援給付金事業	新規		A	主体的に資格取得等を目指す母子家庭の母を対象に給付金を支給した。 高等技能訓練促進費 28件(延べ311月) 入学支援修了一時金 10件 自立支援教育訓練給付金 0件	H22 高等技能:20件(延べ236月) 教育訓練:4件 H23 高等技能:29件(延べ317月) 入学支援修了一時金:7件 教育訓練:4件 H24 高等技能:28件(延べ311月) 入学支援修了一時金:10件	H22 A 31,191 30,675 H23 A 58,849 41,288 H24 A 52,108 37,329 H25 33,449 H26 計 175,597 109,292	引き続き、主体的な資格取得のために、給付金を支給し、母子家庭の自立を支援していく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
11	母子自立支援プログラム策定事業	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 15件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件 H24 プログラム策定件数 15件	H22 A 1,152 1,136 H23 A 1,152 1,168 H24 A 1,152 1,152 H25 1,152 H26 計 4,608 3,456	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、継続的な就労支援を行っていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)

12	女性のための相談事業	継続	相談日数 100日/年	A	DV、女性の抱えるさまざまな問題、性別による差別的扱い等に関する相談に対し、問題を解決するための助言、関係機関の紹介等を行った。	H22 カウンセリングルーム 67件 女性相談 256件 H23 カウンセリングルーム 65件 女性相談 341件 H24 カウンセリングルーム 73件 女性相談 392件	H22 A 2,274 2,373 H23 A 2,796 2,658 H24 A 2,834 2,546 H25 2,834 H26 計 10,738 7,577	関係各課と連携を図り、今後も相談体制を充実していく。	男女共同参画課
13	川越市父子家庭貸付事業	新規		A	父子家庭の父の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の増進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 4件 1,432,000円	H22 2件 222,000円 H23 3件 1,448,000円 H24 4件 1,432,000円	H22 A 3,035 251 H23 A 3,021 1,454 H24 A 1,813 1,438 H25 1,809 H26 計 9,678 3,143	引き続き父子家庭の父の経済的自立とその児童の福祉の増進を図るため、必要な資金を貸し付ける。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(3) 障害児施策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	生活サポート事業	継続		A	対象者数 114人	対象者数 平成22年度 104人 平成23年度 105人 平成24年度 114人	H22 A 6,189 6,189 H23 A 7,467 6,695 H24 A 5,869 6,384 H25 7,245 H26 計 26,770 19,268	サービスの利用にあたり、その利用料の自己負担額の軽減を図るため所得に応じた補助を継続して行う。	障害者福祉課			
2	緊急一時保護事業	継続		A	保護件数 114件 実利用人数 26人	H22 保護件数 216件 実利用人数 34人 H23 保護件数 160件 実利用人数 31人 H24 保護件数 114件 実利用人数 26人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 H26 計 0 0	緊急に保護が必要になった障害児の一時保護を継続して行っていく。	障害者福祉課			
3	障害のある子どもへの補装具等の交付	継続		A	購入 293件 40,703,197円 修理 107件 3,409,292円	H22 購入 212件 23,704,118円 修理 94件 2,067,103円 H23 購入 181件 22,349,067円 修理 87件 2,932,628円 H24 購入 293件 40,703,197円 修理 107件 3,409,292円	H22 A 30,822 25,771 H23 A 23,904 25,282 H24 A 26,677 44,112 H25 35,820 H26 計 117,223 95,165	障害児の身体機能を補完する補装具等を作成・修理する費用の支給を継続していく。	障害者福祉課			

4	障害のある子どもへの各種手当の支給	継続	A	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,330円×296人＝4,241,680円(延べ人数) 14,280円×1,495人＝21,348,600円(延べ人数) ※年度途中で単価の変更あり	H22 14,380円×1,679人＝24,144,020円(延べ人数) H23 14,380円×287人＝4,127,060円(延べ人数) 14,330円×1,458人＝20,893,140円(延べ人数) H24 14,330円×296人＝4,241,680円(延べ人数) 14,280円×1,495人＝21,348,600円(延べ人数)	H22 A 24,158 24,144 H23 A 25,884 25,020 H24 A 25,794 25,590 H25 26,561 H26 計 102,397 74,754	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給していく。	障害者福祉課
				児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。 支給者数 435人	H22 支給者数 400人 H23 支給者数 407人 H24 支給者数 435人	H22 A 82 82 H23 A 82 82 H24 A 82 82 H25 82 H26 計 328 246	引き続き、在宅の障害児を育てている方に特別児童扶養手当を支給する。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
5	障害者相談支援事業	継続	A	相談件数 5,034件	相談件数 H22 5,200件 H23 4,256件 H24 5,034件	H22 A 58,600 58,600 H23 A 58,840 58,840 H24 A 58,840 58,840 H25 58,840 H26 計 235,120 176,280	障害児(者)又はその家族からの相談に総合的・専門的に応じ、日常生活の支援を行う。	障害者福祉課
6	紙おむつ給付事業	継続	A	利用人数170人 延べ人数(年間)1,884人	H22 利用人数174人(平成23年3月末) 延べ人数(年間)2,027人 H23 利用人数178人(平成24年3月末) 延べ人数(年間)2,159人 H24 利用人数170人 延べ人数(年間)1,884人	H22 A 9,023 9,023 H23 A 9,754 9,487 H24 A 10,259 8,382 H25 A 8,906 H26 計 37,942 26,892	在宅の常時失禁状態にある障害児(者)に対して継続して紙おむつを支給することにより、経済的負担の軽減を図る。	障害者福祉課
7	統合保育事業(5-(2)-3の再掲)	継続	A	障害児及び健全児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	統合保育の充実に努めていく。	保育課
8	グループ指導会	継続	A	家庭児童相談員が、主に発達につまづきのある3歳児を対象に、将来の集団生活に備えて、小グループにおいて親子での遊びを中心とした発達支援を行った。 32回 延べ561人	H22 30回 延べ626人 H23 31回 延べ391人 H24 32回 延べ561人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	引き続き、家庭児童相談員が、主に発達につまづきのある3歳児を対象に発達支援を行っていく。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

9	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,320件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	引き続き、子どもの発達に関すること、学校生活、家族関係などの相談に応じていく。	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
10	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続		A	障害のある児童生徒への理解と指導力の向上、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。 特別支援教育コーディネーター養成研修会3回168名参加 就学相談担当者研修会1回 54名参加 発達障害の理解と指導法研修会3回 78名参加 特別支援教育支援員研修会1回 107名 特別支援学級・通級指導教室担当者研修会1回 23名	研修の充実により、特別支援教育への理解と指導力の向上が図られた。	H22 A 125 40 H23 A 100 20 H24 A 80 33 H25 50 H26 計 355 93	昨年度までの研修に加え、特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会を新設し、担当教員の指導力向上を図る。	教育センター (旧 教育研究所)
11	知的障害児通園施設	新規		B	あけぼの児童園において、知的障害のある子供の特性に応じて日常生活及び社会適応のための支援を行った。 通園児童数 28名	H22 30名 H23 32名 H24 28名	H22 B 59,534 56,154 H23 B 59,133 56,853 H24 B 57,929 56,064 H25 59,345 H26 計 235,941 169,071	引き続き、子どもの特性に応じた支援を行っていく。	保育課
12	肢体不自由児認可通園施設	拡充		B	ひかり児童園等施設整備検討委員会において施設の導入機能及び建設場所等について検討を行った。 実施回数3回		H22 B — — H23 B — — H24 B 1,000 0 H25 1,500 H26 計 2,500 0	引き続き、検討委員会において導入機能及び建設場所等について検討を行う。	保育課
13	特別支援教育支援員(自立支援サポーター)の配置	継続		A	通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター33名を年間74日派遣した。	小学校32校、中学校11校からの要請に対し、43校全てに配置し、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を通して、小学校・中学校に適切な支援を行うことができた。	H22 A 6,599 5,619 H23 A 9,863 8,587 H24 A 11,312 11,624 H25 10,908 H26 計 38,682 25,830	自立支援サポーター33名の配置の工夫により、より適切な個別的支援の充実を図る。	教育センター (旧 教育研究所)
14	特別支援教育支援員(臨時指導員)の配置	継続		A	介助等を必要とする児童生徒に対して、小学校20校、中学校11校、市立特別支援学校1校に特別支援教育支援員(臨時指導員)79名を配置した。 新設された特別支援学級の肢体不自由学級に、臨時指導員4名、看護師2名を配置した。	要請のあった市立小・中・特別支援学校に配置し、児童生徒の学習活動における介助等を実施することで、障害のある児童生徒への教育の充実を図ることができた。	H22 A 109,831 86,951 H23 A 103,624 92,324 H24 A 94,959 82,275 H25 88,917 H26 計 397,331 261,550	児童生徒の状態をよりの確に把握し、適正な配置を図る。	教育センター (旧 教育研究所)
15	ダウン症のある子どもを持つ親の会(1-(1)-22の再掲)	継続		A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22: 9回 延94人 H23: 11回 延88人 H24: 11回 延96人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	いもっこの会を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施する。	健康づくり支援課

16	すくすくクリニック (1-(1)-24の再掲)	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22:12回 延65人 H23:11回 延40人 H24:10回 延59人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援する。	健康づくり支援課
17	発育・発達クリニック (1-(1)-25の再掲)	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22:11回 延71人 H23:11回 延71人 H24:23回 延117人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に診察・相談を行い、発育発達を支援する。	健康づくり支援課
18	子どものこころの健康相談 (1-(1)-26の再掲)	拡充		E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22:11回 56人 H23:11回 48人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 E 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	平成24年度より、発育発達クリニックと統合し、クリニックにおいて支援していく。	健康づくり支援課
19	自立支援医療(育成医療)給付 (1-(4)-4の再掲)	継続		A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人 H24:113人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1-(4)-6の再掲)	継続		A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人 H24:267人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課
21	学童保育事業 (5-(1)-1の再掲)	拡充	学童保育室入室の規定に対して障害児の受け入れは100%入室	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている障害のある児童を、市内32学童保育室で保育した。【51人】 障害児に関わらず、入室の規定に適合していれば100%受け入れている。	年度当初学童保育室に入室する障害のある児童数 平成20年度 64人 平成21年度 48人 平成22年度 50人 平成23年度 54人 平成24年度 51人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている障害のある児童を預かり、必要に応じ、指導員等を加配し、保育する。	教育財務課

(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	地域優良賃貸住宅	継続		D	新規供給計画の申請なし	市認定実績なし 市内特優賃戸数(県認定分) 20年度末 161戸 21年度末 159戸 22年度末 131戸 23年度末 120戸 24年度末 114戸	H22	D	2,028	—	事業者からの申請希望等があった場合の事前相談等に対応していく。ただし、市内の既存物件の空室が埋まらず戸数が減少している状況のため、慎重に対応する必要がある。	建築住宅課
						H23	D	1,014	—			
						H24	D	—	—			
						H25		—	—			
						H26		—	—			
						計		3,042	0			
2	公営住宅における優先入居	継続		A	登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を優遇して登録を行った。	H22(入居は23年度) 【母子世帯の登録数】18世帯 【多子世帯の登録数】3世帯 H23(入居は24年度) 【母子世帯の登録数】22世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 H24(入居は25年度) 【母子世帯の登録数】23世帯 【多子世帯の登録数】1世帯	H22	A	—	—	住宅困窮度判定基準に基づき、原則として、登録方式での優遇を中心に行っていく。	建築住宅課
						H23	A	—	—			
						H24	A	—	—			
						H25		—	—			
						H26		—	—			
						計		0	0			
3	シックハウス対策	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22	A	—	—	建築基準法に基づく確認、検査を行う。	建築指導課
						H23	A	—	—			
						H24	A	—	—			
						H25		—	—			
						H26		—	—			
						計		0	0			

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(2) 安全な道路交通環境の整備

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課		
							年度	進捗状況	予算額	決算額				
1	歩行空間のバリアフリー化	継続	1,960m	A	歩道付道路を9路線1,275m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m	H22	A	—	—	平成25年度は、5路線900mを整備予定。	道路街路課 (H24年度まで: 道路建設課) ※道路建設課分		
					川越駅南大塚線、川越所沢線の歩道350mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m	H22	A	—	—			川越駅南大塚線の歩道470mの整備を行う。	道路街路課 (H24年度まで: 街路課) ※街路課分
					歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22	A	—	—				
		H23	A	—	—									
		H24	A	—	—									
						H25								
						H26								
						計		0	0					
2	屋外広告物の撤去	継続		A	違反広告物の掲出数そのものが年々減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地域に密着した除却活動の成果が着実に現れている。	H22:合計 8,434個(枚) H23:合計 9,433個(枚) H24:はり紙 1,072枚 はり札 7,253枚 立看板 49個 合計 8,374個(枚)	H22	A	1,251	962	引き続き市民ボランティアの方々にご協力をいただき、地域に密着した除却活動を進めていく。	都市景観課		
							H23	A	557	557				
							H24	A	671	546				
						H25		449						
						H26								
						計		2,928	2,065					
3	生活道路における安全対策	継続	100箇所	A	路面標示等による事故防止対策を実施した。 63箇所 ゾーン30対策事業 1地区	22年度115箇所 23年度323箇所 24年度 63箇所、ゾーン30対策1地区	H22	A	59,874	54,868	路面標示等により、事故防止対策を実施する。	防犯・交通安全課		
							H23	A	51,808	48,254				
							H24	A	50,774	47,913				
						H25		78,293						
						H26								
						計		240,749	151,035					
4	カーブミラーの整備	継続	80基	A	カーブミラーの新設・修繕を行った。 新設 63基 修繕 180基	22年度新設100基、修繕188基 23年度新設70基、修繕205基 24年度新設63基、修繕180基	H22	A	項目3に含まれる		見通しの悪い交差点等について、カーブミラーを新設する。破損等をしたカーブミラーについて修繕する。	防犯・交通安全課		
							H23	A						
							H24	A						
						H25								
						H26								
						計		0	0					

5	交通安全看板	継続	40本	A	警戒標識・注意看板を設置した。 48本	22年度62本 23年度67本 24年度48本	H22 A H23 A H24 A H25 H26 計 0 0	項目3に含まれる	警戒標識・注意看板を設置する。	防犯・交通安全課
6	道路照明灯	継続	3基	A	道路照明灯を新設した。 新設 4基	22年度新設6基 23年度新設6基 24年度新設4基	H22 A H23 A H24 A H25 H26 計 0 0	項目3に含まれる	道路照明灯を新設する。	防犯・交通安全課
7	信号機	継続		A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図っている。		H22 A H23 A H24 A H25 H26 計 0 0	— — — — — — —	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるため、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図る。	防犯・交通安全課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(3) 安全・安心なまちづくり

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	改修数 年間20箇所	B	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備を実施。 実施公園数16公園 その他 ・砂場の浄化 111公園 ・高木等の剪定 10公園 ・遊具等の保守点検 166公園	H22: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H23: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H24: 延べ16公園の整備及び改修・補修を実施	H22 B H23 B H24 B H25 H26 計	89,474 85,900 117,000 35,200	88,124 69,600 103,611 —	良好な避難場所の提供や、改修・補修による利用者の安全確保を行い、市民生活の向上を図る。	公園整備課	
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	駅施設のバリアフリー化 100% ノンステップバス導入率 100%	A	ノンステップバス導入に対して補助を行った。(6台)	市内12駅(地平駅含む)全てがバリアフリー対応。(平成23年度完了) ノンステップバス導入率86.8%(平成24年度末現在)	H22 A H23 A H24 A H25 H26 計	96,897 82,264 4,982 7,037	12,085 81,267 4,062 —	駅施設については目標事業量を達成済み(平成23年度完了)。 ノンステップバス導入に対して補助を継続していく。	交通政策課	
3	バリアフリー新法に基づく所要の措置	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22 A H23 A H24 A H25 H26 計	— — — —	— — — —	建築基準法に基づく審査、検査及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく特定建築物の認定を行う。	建築指導課	

4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	1,960m	A	歩道付道路を1,275m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m	H22 A 175,200 72,248 H23 A 139,500 203,874 H24 A 334,074 282,925 H25 197,200 H26 計 845,974 559,047	平成25年度は、5路線900mを整備予定。	道路街路課 (H24年度まで: 道路建設課) ※道路建設課分
				A	川越駅南大塚線、川越所沢線の歩道350mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m	H22 A 12,200 11,086 H23 A — — H24 A 91,500 62,174 H25 191,900 H26 計 295,600 73,260	川越駅南大塚線の歩道470mの整備を行う。	道路街路課 (H24年度まで: 街路課) ※街路課分
				A	歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22 A 7,896 6,284 H23 A 9,000 8,377 H24 A 13,000 6,172 H25 48,700 H26 計 78,596 20,833	引き続き歩道整備を進める。市内3路線・延長370mについて歩道整備を行う予定。	道路環境整備課
				A	小仙波庁舎改修工事	H22 福原小及び川越小の体育館耐震補強工事に伴うトイレのバリアフリー化 H24 小仙波庁舎改修工事に伴い、玄関スロープ、トイレの手すり等の設置を行った。	H22 A — — H23 D — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	バリアフリー化に適した事業に際し、対応していく。	建築住宅課
5	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続		新規供給計画の申請なし	H24 未実施	H22 A 1,300 1,280 H23 A 2,584 2,552 H24 D — — H25 — — H26 計 3,884 3,832	H25の改修予定なし。 緊急修繕等を実施する場合は、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備に努める。	管財課	
6	防犯灯の整備	継続	年間の新設灯火350灯	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 新設:158灯 修繕:499灯	新設工事 H17:235灯 H18:216灯 H19:223灯 H20:214灯 H21:195灯 H22:162灯 H23:168灯 H24:158灯	H22 A 46,657 43,581 H23 A 74,935 72,994 H24 A 55,241 55,084 H25 60,248 H26 計 237,081 171,659	引き続き防犯灯の新設及び既設の整備を行い、夜間における身近な犯罪の防止に努める。H25年度における新設防犯灯は環境配慮・電気料節約・長寿命の観点から、LED防犯灯に替えていく。修繕においても本体故障の場合はLED防犯灯に替えていく。	防犯・交通安全課	

7	赤ちゃんの駅	新規	50箇所	A	市内の公共施設41カ所を「赤ちゃんの駅」として指定して、授乳及びおむつ替等のスペースを提供した。また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計125箇所の施設を登録。登録施設には標識フラッグ等を掲示し、HPやモバイルサイトのほか、子育て情報誌、川越観光パンフレット、川越まつりパンフレット、小江戸川越マップ(HP上)に掲載した。	H22 市公共施設40カ所 川越市内105箇所 H23 市公共施設40カ所 川越市内122箇所	H22	A	2,615	2,333	埼玉県と協力して「赤ちゃんの駅」事業を広く周知し、指定施設を増やして乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境の整備を図る。西武鉄道発行の観光情報誌(フリーペーパー)に赤ちゃんの駅を掲載する。	こども育成課 (H24年度まで：子育て支援課)
							H23	A	—	—		
							H24	A	—	—		
							H25		—	—		
							H26		—	—		
							計		2,615	2,333		

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	交通安全教育	拡充	180回 21,000人	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施した。 160回 15,926人	22年度安全教育177回 参加者17,515人 23年度安全教育181回 参加者18,687人	H22	A	2,040	1,988	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施する。	防犯・交通安全課
							H23	A	2,040	1,892		
							H24	A	2,040	1,618		
							H25		2,040			
							H26					
							計		8,160	5,498		
2	児童の登校時の交通安全確保	継続		A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 朝の立哨回数 9,265回	22年度朝の立哨回数 8,860回 23年度朝の立哨回数 9,241回	H22	A	12,480	10,632	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施する。	防犯・交通安全課
							H23	A	12,240	11,089		
							H24	A	11,760	11,118		
							H25		11,760			
							H26					
							計		48,240	32,839		
3	交通安全推進団体への補助	継続		A	交通安全推進協議会に¥1,290,000・交通安全母の会に¥900,000・川越交通安全協会に¥450,000・交通指導員会に¥45,000を補助した。	交通安全推進協議会129万円・交通安全母の会90万円・川越交通安全協会45万円・交通指導員会4.5万円	H22	A	2,685	2,685	交通安全を推進するため、交通安全推進協議会・交通安全母の会・川越交通安全協会・交通指導員会に対し補助金を交付する。	防犯・交通安全課
							H23	A	2,685	2,685		
							H24	A	2,685	2,685		
							H25		2,685			
							H26					
							計		10,740	8,055		
4	交通安全運動	継続	年4回 約1,500人参加	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 12回 1,290人	平成22年度の交通運動12回 参加者数 1,050人 平成23年度の交通運動12回 参加者数 1,050人	H22	A	1,161	413	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施する。	防犯・交通安全課
							H23	A	431	397		
							H24	A	660	477		
							H25		660			
							H26					
							計		2,912	1,287		
5	放置自転車対策	継続	4,000台撤去	A	子供、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道上の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。 【市内11駅、撤去回数417回、撤去台数3,666台】	H22 市内11駅、撤去回数281回、撤去台数3,632台 H23 市内11駅、撤去回数340回、撤去台数3,389台	H22	A	34,887	32,706	川越駅東口・西口に年末年始を除いて毎日自転車置き方指導員を配置し放置防止を図るとともに、川越駅西口周辺区域の自転車駐車場整備計画を策定し、放置自転車禁止区域とするほか、各駅の放置自転車の一層の減退を図るため撤去・啓発活動などを実施。	防犯・交通安全課
							H23	A	39,406	33,267		
							H24	A	37,556	32,029		
							H25		42,310			
							H26					
							計		154,159	98,002		

6	シートベルト、チャイルドシートの着用促進	継続		A	夏の交通安全キャンペーンの際に積極的に着用促進の啓発を行った。		H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	交通安全運動の際に啓発に努める。	防犯・交通安全課
7	安全・安心な通学路の確保	新規		A	路面標示等による通学路の事故防止対策を実施した。 120箇所	H22路面標示48箇所・ヒヤリハットマップ55校 H23路面標示48箇所・H23道路照明灯5基 H24路面標示120箇所	H22 A 10,000 8,625 H23 A 10,000 8,860 H24 A 20,000 19,831 H25 — 15,000 H26 — — 計 55,000 37,316	引き続き緊急度の高いものから順次実施する。	防犯・交通安全課
				A	歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き歩道整備を進める。市内3路線・延長370mについて歩道整備を行う予定。	道路環境整備課
				A	児童・生徒の通学路については、学校や地域の実情に応じ、交通事故及び不審者等からの児童生徒の安全確保のために、日常点検及び定期点検を実施した。 通学路の点検結果をもとに、登下校時の安全に係る相談や通学路の整備に係る要望がある場合には、他課と連携して、通学路の整備を通して児童・生徒安全の確保に努めた。	通学路点検全校実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	通学時の事故防止に向け学校と連携しながら通学路の整備をすすめていく。	教育指導課
8	児童等の自転車乗車時のヘルメットの着用	新規		A	小学校で行う交通安全教室で啓発した。 78回 延11,635人	平成22年度 79回 延11,504人 平成23年度 38回 延7,027人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	小学校で行う交通安全教室で啓発に努める。	防犯・交通安全課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	継続		A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進強化に努めた。 ・市内の犯罪認知件数:4,241件	市内の犯罪認知件数 H17:7,836件 H18:7,226件 H19:6,654件 H20:6,152件 H21:5,807件 H22:5,165件 H23:5,081件 H24:4,241件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	10,150 9,935 9,599 9,692 — 39,376	10,126 9,892 9,438 — — 29,456	犯行の機会を与えない、犯罪を起させない地域環境づくりを行う「防犯のまちづくり」を推進するため、ソフト・ハードの両面から総合的、効果的に地域の「領域性」や「監視性」を高めるための各種施策に努める。	防犯・交通安全課
2	防犯推進体制の整備	継続	自主防犯活動を行っている団体数(自治会・PTA)300団体	A	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組んだ。地域においては自治会を中心とした活動や地域防犯推進員等の活動の充実が図れるよう支援するとともに、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、地域の推進体制整備に努めた。人員確保の問題等からほぼ毎年度同数の団体数となっているのが現状である。 ・自主防犯活動を行っている団体数304団体	自主防犯活動を行っている団体数 H21:250団体 H22:250団体 H23:250団体 H24:304団体 (H21～H23は自治会のみ計上) (H24は警察発表の数字)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	— — — — — 0	— — — — — 0	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組む。また、地域、事業所及び関係団体等と協働で、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、自治会を中心とした地域における防犯推進体制の整備に努める。	防犯・交通安全課
3	防犯意識の高揚(犯罪情報・防犯情報の収集と提供)	継続	メール配信サービスの登録件数10,000件	B	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に努めた。 ・防犯対策情報・犯罪情報・不審者情報をEメールで配信 登録数:8,243件	登録状況 H18:5,041件 H19:7,988件 H20:9,187件 H21:9,166件 H22:9,224件 H23:8,941件 H24:8,243件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A B — —	2,073 2,205 2,205 2,167 — 8,650	2,073 2,205 2,205 — — 6,483	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に引き続き努める。 小江戸川越防犯のまちづくり情報メール配信サービスの充実にも引き続き努める。	防犯・交通安全課
4	安全な地域コミュニティの推進	継続	年間の提供団体数20自治会等	B	地域における自主防犯活動をはじめとした各種活動への参画を促進し、支援することにより、安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・防犯パトロール用資機材等の提供(新設自治会)1自治会 ・夜間パトロールグッズ配布8自治会(本庁管内)	防犯パトロール用資機材等の提供 H16:10自治会等(重点地域) H17:51自治会(強化地域) H18:2自治会(強化地域) H19:24自治会(強化地域) H21:5自治会(強化地域) H22:14自治会(強化地域) H24:1自治会(新設自治会)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A B — —	724 812 483 678 — 2,697	724 785 356 — — 1,865	地域における自主防犯活動をはじめとした各種活動への参画を促進し、支援(夜間パトロール、強化地域、新設自治会等)することにより、安全な地域コミュニティの推進に努める。	防犯・交通安全課

5	防犯実技研修会	継続	教員54名 スクールガード68名	A	スクールガード・リーダー養成講習会を11月に実施し、不審者対応の実技講習会を行った。	H24 具体的な護身術の講習を行うことで、防犯意識の啓発と実技の習得を図った。小学校全校にスクールガード・リーダーを配置した。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	スクールガード・リーダーを小学校全校配置し、学校・家庭・地域の連携をさらに推進する。	教育指導課
6	児童虐待防止の啓発活動	継続	1回/年	A	平成25年1月19日(土)に、不登校の子どもと親の相談に20年以上関わっている広木克己氏による子育て講演会を実施した。 11月の「児童虐待防止推進月間」にポスター、パネル等の掲示をし啓発を促した。	H22 1回 参加者122名 H23 11月14日 参加者243名 1月28日 参加者425名 H24 1月19日 参加者163名	H22 A 138 132 H23 A 592 566 H24 A 167 167 H25 A 396 H26 — — 計 1,293 865	引き続き、子育て講演会を実施し、児童虐待防止の啓発を市民に対し、子育ての大切さを訴え、児童福祉の増進を図る。	子ども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
7	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続		A	青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。 ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、12地区会議から請求があり交付した。)		H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 — — 計 — —	子ども110番の家は、地区会議だけでなくPTAや学校が実施主体のところもあるので、3者で子ども110番の家協力者名簿の交換を行い、情報の共有化を図る。また、子ども110番の家の看板を全市で統一するため、青少年を育てる市民会議が子ども110番の家の看板を複製、配布し、子どもたちにとって安全で安心な環境づくりを図っていく。	子ども育成課 (H24年度まで: 青少年課)

【網掛】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続		A	被害者への支援として、市・警察・関係機関(協議会会員)への適切な引継ぎや被害者支援推進のための広報啓発に努めた。	川越市犯罪被害者支援推進協議会への助成 H17~H21年度1,440千円 H22年度~各年度243千円	H22 A 243 243 H23 A 243 243 H24 A 243 243 H25 243 H26 — — 計 972 729	被害者への支援として、市・警察・関係機関(協議会会員)への適切な引継ぎや被害者支援推進のための広報啓発に努める。	防犯・交通安全課			
2	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 — — 計 — —	引き続き、子どもの発達に関すること、学校生活、家族関係などの相談に応じていく。	子ども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会 (6-(1)-3の再掲)	拡充		A	要保護児童の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 — — 計 — —	引き続き、前年度と同数程度の会議を開催するとともに、効率的かつ効果的な会議を目指す。	子ども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)			